marantz®

Network Player
AV8003
NETWORK

取扱説明書

目次

この取扱説明書について

本機は音楽、写真、動画ファイルを再生するネットワークプレーヤーを搭載しています。
本機のネットワーク端子とネットワーク機器を接続し、機器の保存されている音楽、写真、動画ファイルを再生することができます。
本書ではそれらの機能をお使いいただくための設定や手順を説明します。

ネットワークプレーヤーの特長

本機は以下の機能をお楽しみいただけます。

- ネットワーク接続した機器に保存した音楽・写真・動画ファイルの再生
- Windows Media DRM に対応
- DTCP-IP に対応

ネットワークプレーヤーをお使いいただくための設定手順

1. 本機をネットワークに接続する（2 ページ参照）

2. ネットワークを設定する（3 ページ参照）

本機が接続されているネットワーク上に DHCP サーバーがない場合、手動でネットワークの設定が必要となります。

3. サーバー側で本機を認証する（6 ページ参照）

必要に応じて各サーバーで本機を認証しておく必要があります。

4. 本機を操作して再生する（8 ページ参照）

接続

接続する前に

接続する前に下記の機器等をご用意ください。

● **LAN ケーブル**
本機のネットワーク端子とパソコン等のネットワーク機器と接続するケーブルです。

ご注意

- 本機のネットワーク端子は 10BASE-T/100BASE-TX に対応しています。スムーズな再生のために 100BASE-TX 対応の接続を行なってください。
- LAN ケーブルはストレートタイプ カテゴリ 5 以上をご使用ください。

● **ルータ・ハブ**
一つのネットワーク上で複数の機器を接続するための機器です。
ルータに DHCP サーバー機能がある場合、本機のネットワーク設定は自動に設定されます。

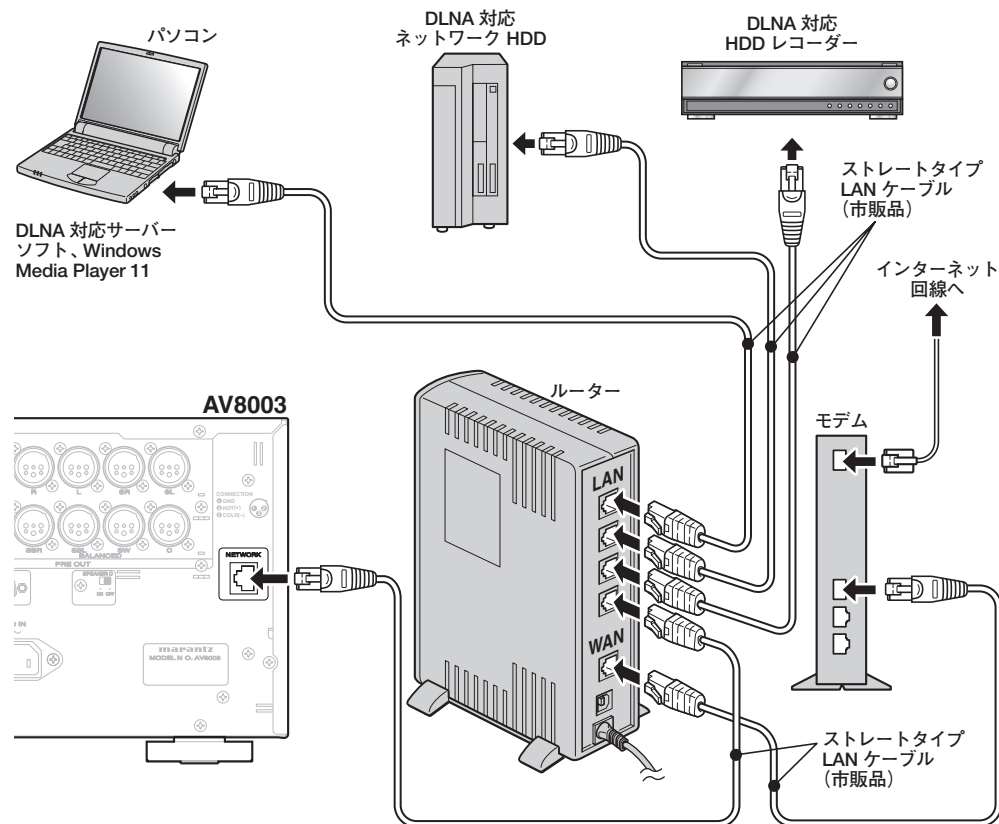
● **サーバー（本書では以下の機器をサーバーと呼称します）**

- DLNA サーバー機能内蔵ハードディスク（LAN 接続型）
- DLNA 対応 HDD レコーダー、オーディオシステム
- 以下のいずれかのサーバーソフトウェアがインストールされたパソコンも使用することができます。
  - Windows Media Player11
  - DLNA 対応サーバーソフトウェア

● **インターネット**

- 本機のネットワーク接続を使ってシステムアップデートを行なう場合に必要となります。

本機とサーバーをネットワークに接続する

下記の様にルーターまたはモデムの LAN 端子に本機、パソコンやハードディスクなどのサーバーを接続します。

ご注意

LAN 端子が不足している場合はルーターに市販のハブを増設してください。

基本設定

接続する際、下記の様に接続状況によってはネットワークの設定が必要になります。

- **ネットワーク上にルーター（DHCP サーバー）がある場合**

ネットワークアドレスの設定は自動で行なわれます。

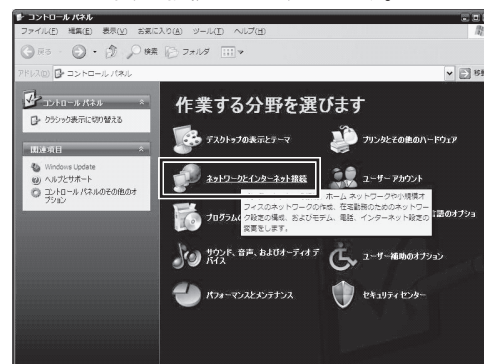
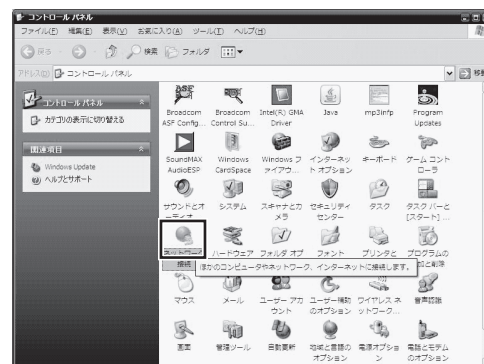
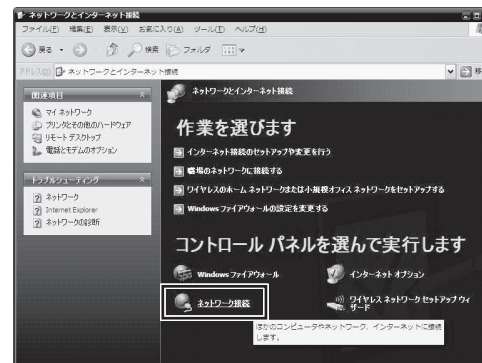
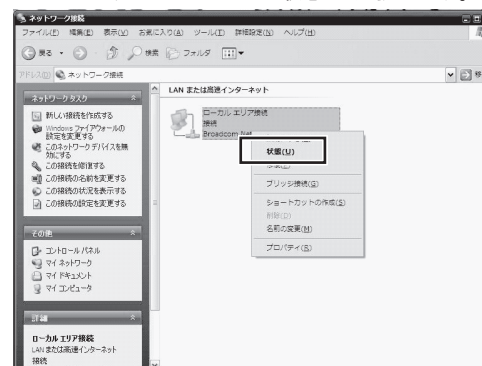
- **ネットワーク上にルーター（DHCP サーバー）がない場合**

ネットワークアドレスの設定は手動で行なう必要があります。

お手持ちのネットワークをご確認の上、状況に合わせた設定を行なってください。
確認方法はネットワークアドレスの確認を行なってください。

ネットワークアドレスの確認

例：Windows XP の場合

1. スタートメニューから、“コントロールパネル”を選択し、メニューから“ネットワークとインターネット接続”をクリックします。

クラシック表示の場合は“ネットワークに接続”をクリックし、手順 ***3.*** に進みます。

2. メニューから“ネットワーク接続”をクリックします。

3. “ローカルエリア接続”を右クリックして、プルダウンメニューから“状態”を選択します。

4. “サポート”タブをクリックします。

5. “アドレスの種類”の記載項目を確認します。

DHCP による自動割り当て：

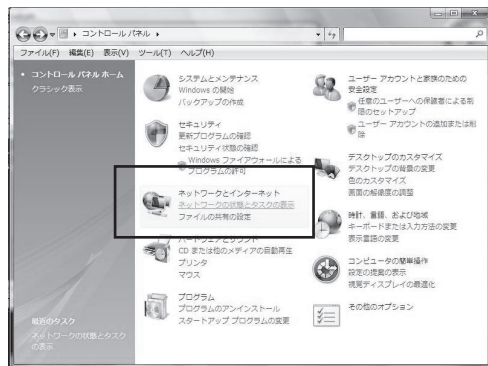
ネットワーク上で DHCP サーバーが機能しています。本機のネットワークアドレスの設定は自動で行なわれます。
お買い上げ時はアドレスを自動取得する設定になっているため、接続する際に設定の必要はありません。

手動構成：

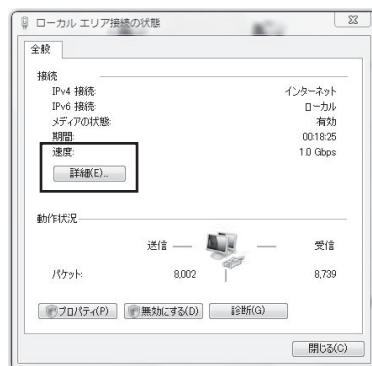
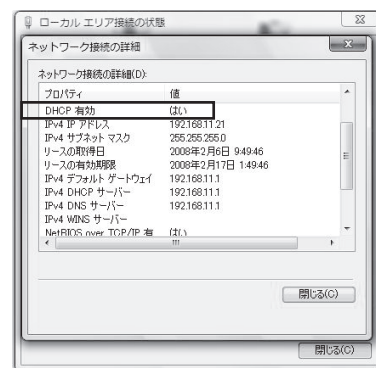
ネットワーク上に DHCP サーバーがないため、ネットワークアドレスの設定は手動で行なう必要があります。
ネットワークプレーヤーを起動し、ネットワークアドレスの設定を行ってください。

例：Windows Vista の場合

1. スタートメニューから“コントロールパネル”を選択します。

コントロールパネルホーム表示の場合は“ネットワークの状態とタスクの表示”をクリックしてください。

クラシック表示の場合は以下の画面が表示されます。“ネットワークと共有センター”をダブルクリックしてください。

2. “状態の表示”をクリックします。

3. “詳細”をクリックします。

4. “DHCP 有効”の記載項目を確認します。

はい：

ネットワーク上で DHCP サーバーが機能しています。本機のネットワークアドレスの設定は自動で行われます。

本機はお買い上げ時はアドレスを自動取得する設定になっているため、接続する際の設定の必要はありません。

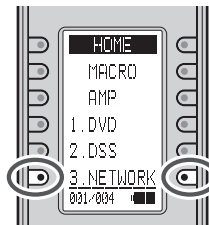
いいえ：

ネットワーク上に DHCP サーバーがないため、ネットワークアドレスの設定は手動で行う必要があります。

ネットワークプレーヤーを起動し、ネットワークアドレスの設定を行ってください。

ネットワークプレーヤーの起動

1. 本機の電源を入れます。

2. リモコンの ***HOME*** ボタンを押した後、***3.NETWORK*** ボタンを押します。

リモコンが NETWORK 操作モードになります。

3. 本機の入力モードを NETWORK に切り替えます。NETWORK モードにするには本機のインプットセレクターを回すか、リモコンの ***3.NETWORK*** ボタンを押します。

4. 起動画面が表示されます。

<モニター>

<本機のディスプレイ>

N E T W O R K

ネットワークプレーヤーの起動は本機の電源を入れてから 30 秒ほどかかります。

起動が終わるとネットワークプレーヤーのトップメニューが表示されます。

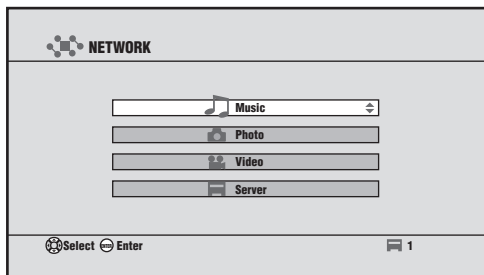
ご注意

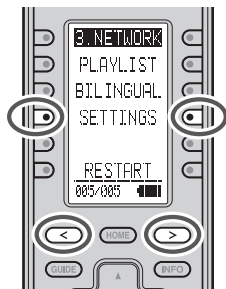
起動時の画面の解像度は 480i です。

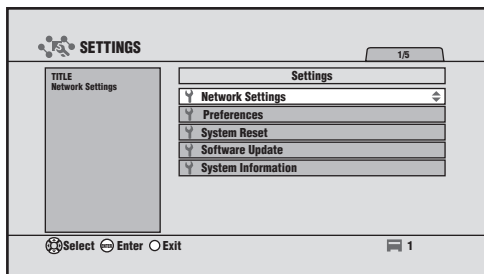
モニターの接続に VIDEO/S-VIDEO 出力をご使用の場合は、NETWORK 画面の出力設定を 480i に設定する必要があります。

詳しくは、「NETWORK 画面の出力設定をする」をご覧ください。（24 ページ参照）

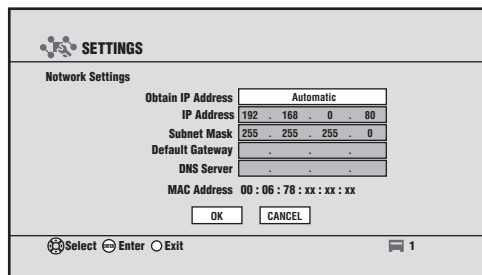
ネットワークアドレスの設定

1. ネットワークプレーヤーを起動します。

2. リモコンを NETWORK モードに切り替えます。

3. リモコンの </> ボタンを押して、リモコンの画面を 005/005 まで移動し、***SETTINGS*** ボタンを押します。

4. SETTINGS 画面が表示されます。

Network Settings にカーソルを合わせて、***ENTER*** ボタンを押します。

5. Network Settings 画面が表示されます。

この画面で表示されている数値は現在のネットワークアドレスの設定値です。

設定値はサーバーから本機を認証させる時に必要になる場合がありますので、設定値を控えておくことをおすすめします。

● **Obtain IP Address：**
初期設定は Automatic に設定されています。
変更する場合は、***ENTER*** ボタンを押して設定を選択可能な状態にした後、▲ / ▼ ボタンで項目を選択し、***ENTER*** ボタンで決定します。

- Automatic：
  DHCP サーバーからアドレスを自動取得します。
  DHCP サーバーがない場合は Auto-IP でアドレスを割り当てます。
  アドレスが自動で取得されている場合は“OK” を選択して設定を終了してください。
  リモコンの ***GUIDE*** ボタンを押してトップメニューに戻ります。
- Manual：
  手動で入力する場合は「Manual で設定する」を参照してください。

Manual で設定する

Manual を選択した場合、以下の項目が入力可能になります。

ご注意

手動入力の場合はネットワークの知識が必要です。ご使用になっているルーターやモデムなどの取扱説明書を参照してください。

● **IP Address：**
IP アドレスを設定します。手動入力の場合、同じネットワークにつながっている他の機器に従って IP アドレスを入力します。

例：　他の機器の IP アドレス　192. 168. 1. 2
　　　本機の IP アドレス　　　192. 168. 1. xxx
xxx には他の機器と重複しない値を入力してください。

● **Subnet Mask：**
サブネットマスクを設定します。ルーターやパソコンなどほかのネットワーク機器のサブネットマスクと同じ数値を入力してください。
例：255. 255. 255. 0

● **Default Gateway：**
ゲートウェイを設定します。ルーターがある場合、通常はルーターの IP アドレスになります。
例：192. 168. 1. 1

● **DNS Server：**
DNS サーバーを設定します。プロバイダから指定されているアドレスまたはルータの IP アドレスなどになります。
例：192. 168. 1. 1

● **MAC Address：**
本機の MAC アドレスです。数値は変更できません。

ご注意

ゲートウェイと DNS は空欄でも再生はできますが、ネットワークアップデートを行う場合には数値の入力が必要です。

1. 設定したい項目を ▲ / ▼ ボタンで選択し、***ENTER*** ボタンを押します。

2. ◀ / ▶ ボタンで入力する数値の位置を選択し、数字キーで設定値を入力します。

数字が 3 ケタ以外の場合は、◀ / ▶ ボタンで次の数値に移動します。

EXIT を押すと、入力した数値は元に戻ります。

ご注意

数値は 0 ～ 255 の範囲で入力してください。

256 以上の数値を入力すると警告が表示されます。

3. 設定値の入力が終わったら、***ENTER*** ボタンを押して、▲ / ▼ ボタンで次の項目を選択します。

4. 手順 ***2.***、***3.*** を繰り返し、入力がすべて終わったら、▼ ボタンで“OK” を選択し、***ENTER*** ボタンを押します。

5. 設定完了のダイアログが表示され、***ENTER*** ボタンを押すと再起動を行います。

ご注意

設定手順の途中で、*EXIT* ボタンを押すか、▼ ボタンで *CANCEL* を選択し、SETTINGS 画面に戻ると、入力した設定値は無効になります。

再起動中は本機をスタンバイにすることはできません。

また、再起動中に本機の電源を切らないでください。

サーバーから本機を認証する

サーバーの種類によっては、サーバーに本機を認証させる必要があります。認証を行わなかった場合、そのサーバーに接続してもファイルを取得できないか、または警告が表示され、アクセスできません。
認証する際、本機の IP アドレス、MAC アドレス、本機のデバイス名（marantz DMP）等の情報が必要になります。
詳しい認証の方法はサーバーの取扱説明書を参照してください。
ここでは、参考として、パソコンにある Windows Media Player11 から本機を認証する手順を記載します。

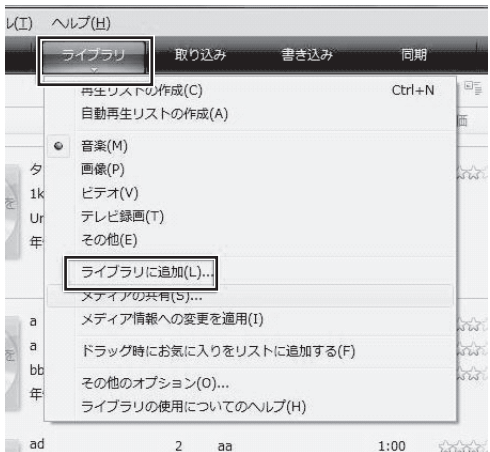
ご注意

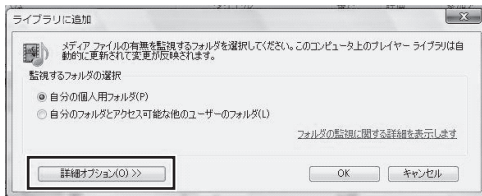
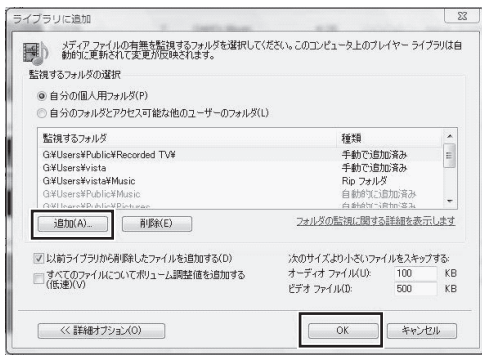
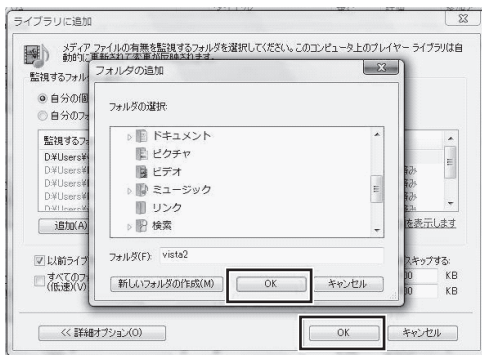
- ご使用の PC が Windows XP SP2 の場合、Windows Media Player11 はマイクロソフト社ウェブサイトよりダウンロードできます。
- Windows Vista をご使用の場合はすでにインストールされています。

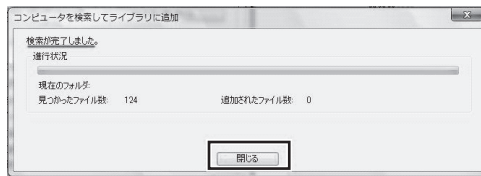
1. Windows Media Player11 を起動します。

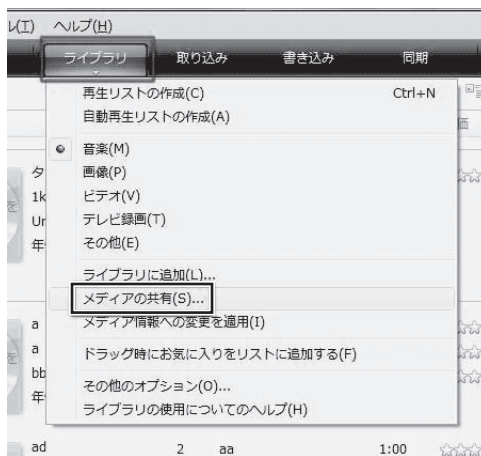
すでに共有したいファイルの設定が終わっている場合、手順 ***7.*** から行なってください。

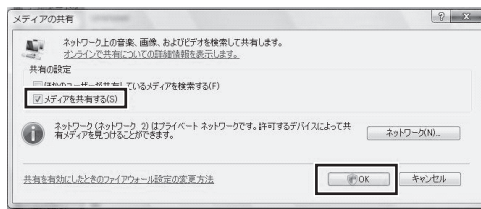
2. 本機で再生したいファイルの共有を設定します。

メニューバーのライブラリから“ライブラリに追加”を選択します。

3. 現在共有されているフォルダの一覧が表示されます。

下の画面が表示された場合、“詳細オプション”をクリックします。

4. 共有したいフォルダを選択し、“OK”をクリックします。
他に共有したいフォルダがある場合、“追加”をクリックするとフォルダの選択画面が表示されます。

5. ファイルを共有する作業が終了したら“OK”をクリックして、設定を終了します。

6. 共有ファイルのリストを作成します。

リストの作成が完了したら、“閉じる”をクリックしてください。

7. 次に Windows Media Player11 から本機を認証する設定を行います。

メニューバーのライブラリから“メディアの共有”を選択します。

すでに Windows Media Player が他のデバイスと共有設定されている場合は手順 ***9.*** に進んでください。

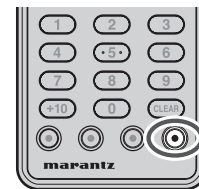
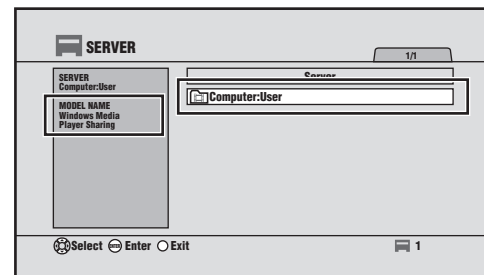
8. “メディアを共有する”にチェックを入れ、“OK”をクリックします。

9. 次の画面が表示されます。

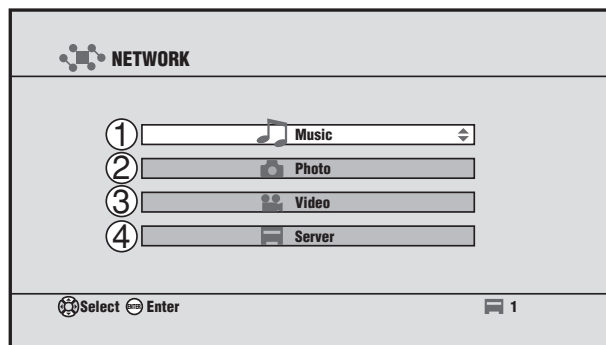
ネットワーク設定が完了し、本機がネットワークと接続されている場合、デバイス一覧に“marantz DMP”が表示されます。

“marantz DMP”を選択し、“許可”をクリックします。

10. “OK”をクリックして、画面を閉じると、Windows Media Player から本機の認証は終了します。

11. 次に本機から Windows Media Player11 に登録されたことを確認します。

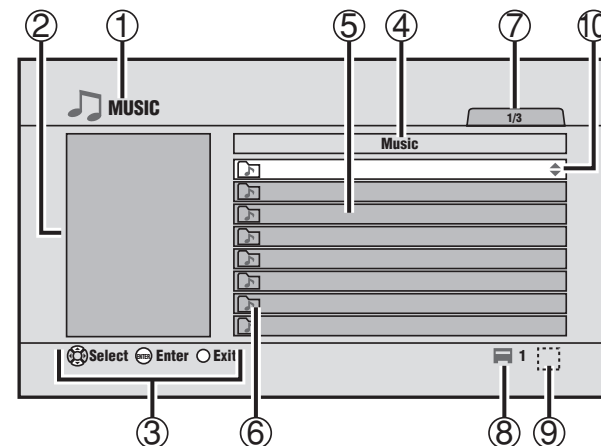
本機が NETWORK モードであることを確認し、リモコンの ***SERVER*** ボタンを押します。

12. 画面のリスト上に、コンピュータ名（設定したパソコンの名前）、ユーザー名（ログインしているユーザの名前）が表示され、認証が完了していることを確認します。

画面の名称

トップメニュー画面

①Music
接続されているすべてのサーバーの音楽を検索・再生します。（9 ページ参照）

②Photo
接続されているすべてのサーバーの画像を検索・再生します。（11 ページ参照）

③Video
接続されているすべてのサーバーの動画を検索・再生します。（13 ページ参照）

④Server
指定したサーバー内のファイルを検索・再生します。現在接続されているサーバーを確認したいときにも使用します。（15 ページ参照）

各項目のメニュー画面

①表示中のモード
②情報表示パネル
③主要ボタン操作ガイダンス
④カテゴリー表示
⑤ファイルリスト
⑥ファイル・カテゴリーの種類
⑦選択されているファイルのリスト番号 / リストの総ファイル数
⑧現在本機が認識しているサーバー数
⑨処理実行中のアイコン
⑩カーソルの移動可能方向

アイコン

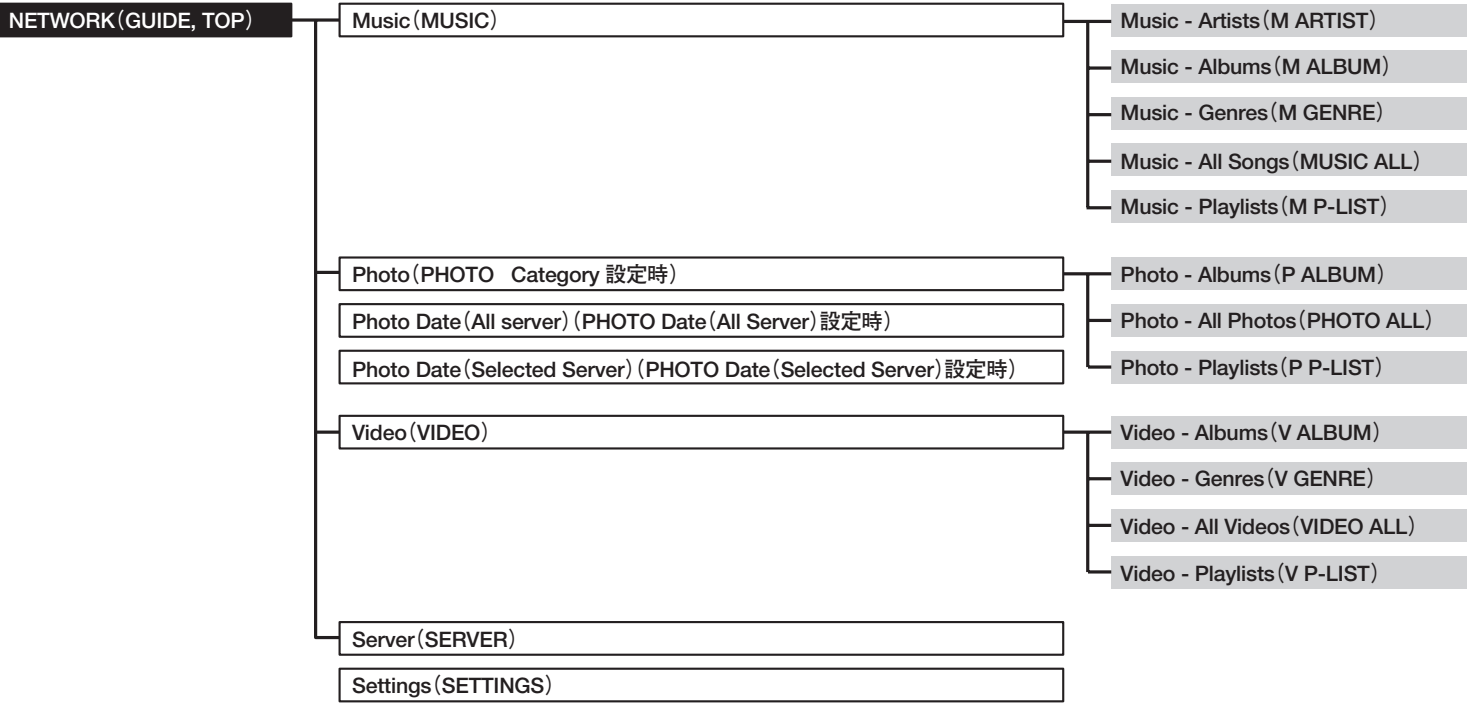
画面に表示されるアイコンは下記のとおりです。

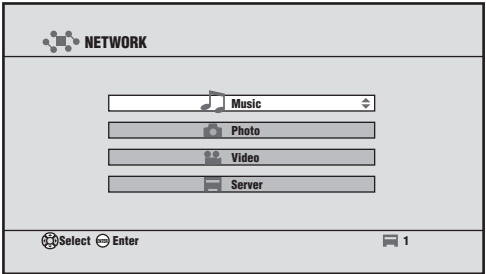
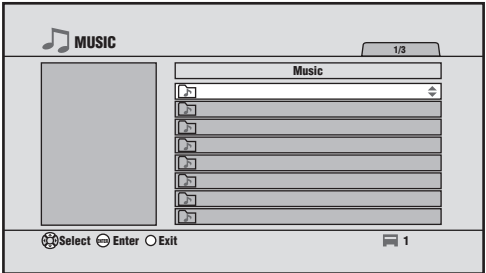
	MUSIC カテゴリー		VIDEO ファイル
	MUSIC ファイル		その他カテゴリー
	PHOTO カテゴリー		その他ファイル
	PHOTO ファイル		サーバー
	VIDEO カテゴリー		

- カテゴリーとはフォルダやアルバム、ジャンルなどを指します。
- 音楽、画像、動画カテゴリーの階層下で ***PLAY***、***REPEAT***、***RANDOM*** ボタンを押すと、カテゴリー以下のファイル全てを再生します。

基本操作

ネットワークプレーヤーの基本操作

メニュー画面の構成

（　）はリモコン表示部に記載された文字

1. トップメニュー画面から再生したい項目を▲ / ▼ ボタンで選択し、***ENTER*** ボタンを押します。

2. 各項目のメニュー画面が表示されます。

ご注意

サーバーの仕様によっては、Server 以外の項目でファイルリストが表示されない場合があります。

3. ファイルを再生します。

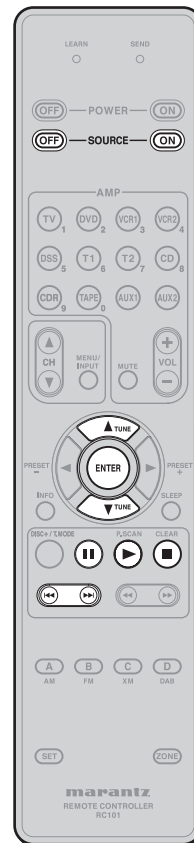
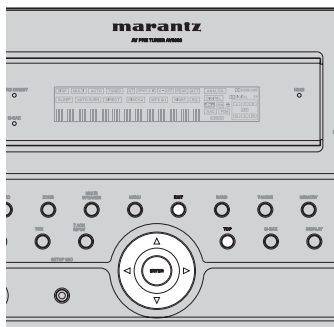
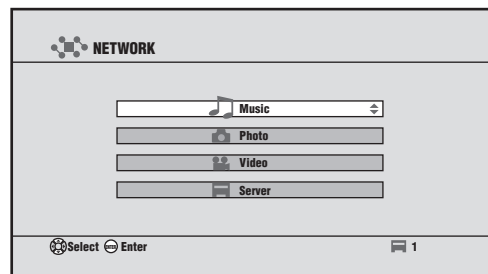
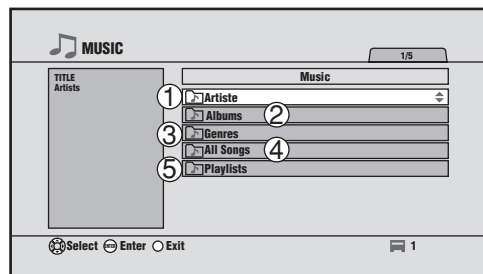
- ファイルリストから再生したいファイルを選択し、***ENTER*** または ***PLAY*** ボタンを押すと、ファイルを再生します。
- ファイルリストからカテゴリーを選択し、***PLAY*** ボタンを押すと、カテゴリーの階層下にあるファイル全てを再生します。
- ファイルリストのページが複数ページある場合、ファイルリストの上端で ▲ ボタン、ファイルリストの下端で ▼ ボタンを押すか、***Ch +/–*** ボタンを押すとページが切り替わります。
- ***EXIT*** ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。
- 画像のサムネイルリストを参照するときは、▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押します。

音楽を再生する

RC2001

ボタン	音楽再生画面
▲, ▼ （リモコン、本機）	項目の移動
ENTER （リモコン、本機）	カーソル選択曲の再生
GUIDE TOP（本機）	トップメニューに移動
EXIT （リモコン、本機）	停止
CH ±	（＋）次ページ （－）前ページ
MENU	TOOL メニュー
▶（PLAY）	再生
⏮ / ⏭	（⏭）次の曲を再生 （⏮）前の曲を再生（曲の先頭から 1 秒以上の場合は頭出し）
■（STOP）	停止
⏸（PAUSE）	一時停止 / 解除
（Blue）MUSIC	MUSIC TOP に移動
（Red）PHOTO	設定された PHOTO 画面に移動
（Green）VIDEO	VIDEO TOP に移動
（Yellow）SERVER	SERVER TOP に移動

AV8003

RC101

ボタン	音楽再生画面
▲, ▼ （リモコン、本機）	項目の移動
ENTER （リモコン、本機）	カーソル選択曲の再生
SOURCE OFF	停止
SOURCE ON	画面の解像度の変更
▶（PLAY）	再生
⏮ / ⏭	（⏭） 次の曲を再生 （⏮） 前の曲を再生（曲の先頭から 1 秒以上の場合は頭出し）
■（STOP）	停止
⏸（PAUSE）	一時停止 / 解除

トップメニューから Music にカーソルを合わせ、***ENTER*** ボタンを押すか、任意の画面で***青（MUSIC）***ボタンを押します。

Music のトップメニューが表示されます。

①Artists：
音楽ファイルをアーティスト毎にソートします。

②Albums：
音楽ファイルをアルバム毎にソートします。

③ Genres：
音楽ファイルをジャンル毎にソートします。

④ All songs：
すべての音楽ファイルを表示します。

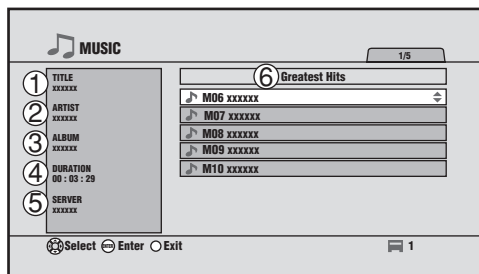
⑤ Playlists：
音楽プレイリストを表示します。
（20 ページ参照）

各カテゴリからさらに条件を絞ってソートすることができます。

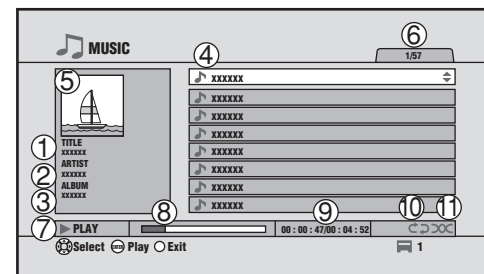
例）Artists →アルバム→曲

ご注意

接続するサーバーによっては特定のカテゴリのソートができない場合があります。その場合は直接サーバーを選択して接続してください。（15 ページ参照）

ソートが終了するとファイル一覧が表示されます。

①曲のタイトル
②アーティスト名
③アルバム名
④曲の演奏時間
⑤ファイルが保存されているサーバー
⑥ソート項目

再生したいファイルを選び、***ENTER*** または ***PLAY*** ボタンを押して、再生を行ないます。

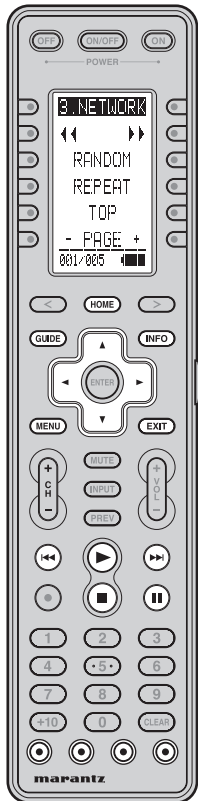
音楽再生画面

①再生中タイトル名
②再生中アーティスト名
③アルバム名
④再生対象曲リスト
⑤アルバムのジャケット写真
⑥カーソルの項目番号 / 総曲数
⑦再生状態
⑧プログレスバー
⑨経過時間 / 総時間
⑩リピート状態表示
⑪ランダム状態表示

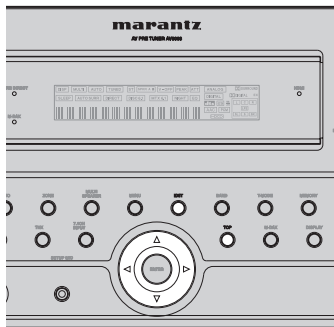
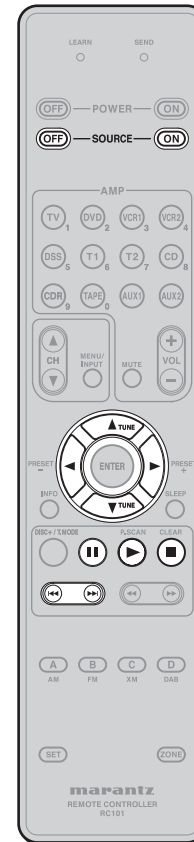
- ファイルリストの順番に音楽を再生します。
- 再生中に別の曲を再生したい場合はカーソルを任意の曲まで移動し、***ENTER*** ボタンを押します。
- 再生をやめたい場合は、***STOP*** ボタン または ***EXIT*** ボタンを押すと、再生は止まり、前の画面に戻ります。
- ランダム再生中はファイルリストの順番がランダムになります。

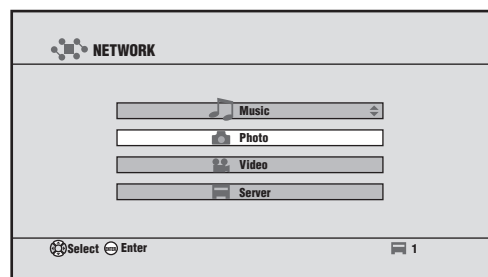
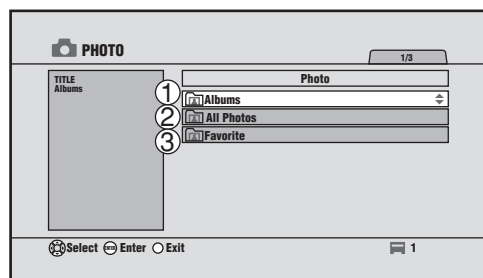
ご注意

ファイル構成によっては曲と関係ない写真が表示される場合があります。

画像を再生する

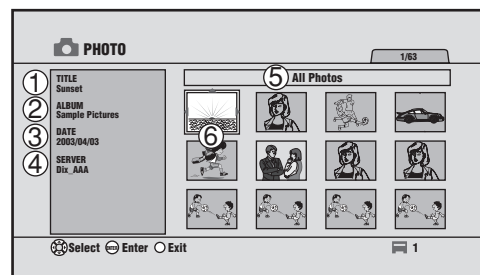
RC2001

ボタン	画像再生画面
▲, ▼ （リモコン、本機）	（▲）前の画像を表示 （▼）次の画像を表示
◀, ▶ （リモコン、本機）	（◀）前の画像を表示 （▶）次の画像を表示
GUIDE TOP（本機）	トップメニューに移動
EXIT （リモコン、本機）	停止
MENU	TOOL メニュー
INFO	パネル表示切替
▶（PLAY）	スライドショー開始
⏮ / ⏭	（⏭）次の画像を表示 （⏮）　前の画像を表示
■（STOP）	停止
❚❚（PAUSE）	スライドショー一時停止
（Blue）MUSIC	MUSIC TOP に移動
（Red）PHOTO	設定された PHOTO 画面に移動
（Green）VIDEO	VIDEO TOP に移動
（Yellow）SERVER	SERVER TOP に移動

AV8003

RC101

ボタン	画像再生画面
▲, ▼ （リモコン、本機）	（▲）前の画像を表示 （▼）次の画像を表示
◀, ▶ （リモコン、本機）	（◀）前の画像を表示 （▶）次の画像を表示
SOURCE OFF	停止
SOURCE ON	画面の解像度の変更
▶（PLAY）	スライドショー開始
⏮ / ⏭	（⏭）次の画像を表示 （⏮）前の画像を表示
■（STOP）	停止
❚❚（PAUSE）	スライドショー一時停止

トップメニューから PHOTO にカーソルを合わせ、***ENTER*** ボタンを押すか、任意の画面で***赤（PHOTO）***ボタンを押します。
（***赤（PHOTO）***ボタンの設定が Category になっているとき（18 ページ参照））

画像のトップメニューが表示されます。

①Albums：
画像ファイルをアルバム毎にソートします。

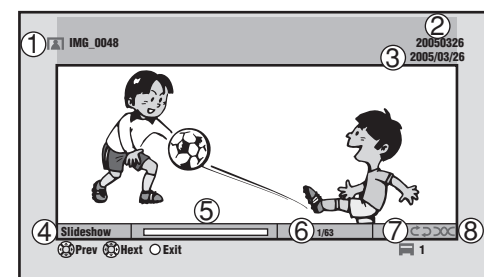
②All Photos：
すべて画像ファイルを表示します。

③Playlists：
画像プレイリストを表示します。
（20 ページ参照）

ソートが終了すると画像サムネイル一覧が表示されます。

①画像のタイトル
②アルバム名
③撮影日 または作成日
④ファイルが保存されているサーバー
⑤ソート項目
⑥画像のサムネイル

表示したい画像を選択し、***ENTER*** または ***PLAY*** ボタンを押します。

- ***ENTER*** ボタンを押すと、選択した画像を表示します。
- ***PLAY*** ボタンを押すと、選択した画像からスライドショーを開始します。

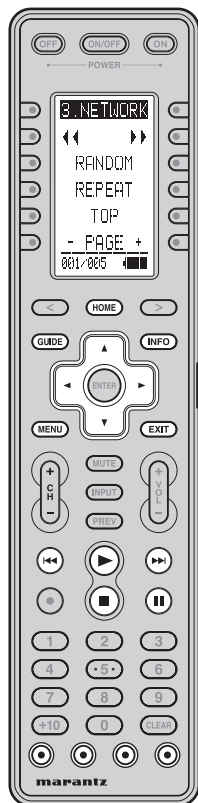
画像再生画面

①タイトル名
②アルバム名
③日付表示
④状態表示
⑤プログレスバー
⑥枚数 / 総枚数
⑦リピート状態表示
⑧ランダム状態表示

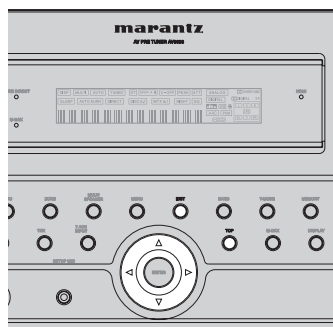
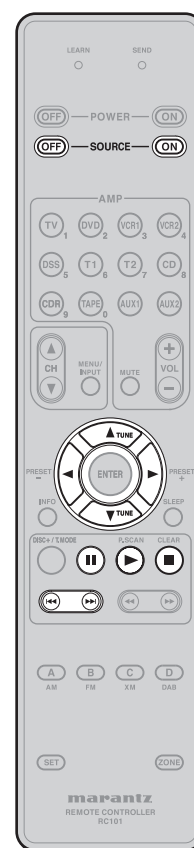
- 表示したい画像を選択し、***ENTER*** ボタンを押すと、選択した画像が表示されます。
- ▼、▶、⏭ ボタンを押すと、次の画像に進みます。
- ▲、◀、⏮ ボタンを押すと、前の画像に戻ります。
- 表示したい画像を選択し、***PLAY*** ボタンを押すと、選択した画像からスライドショーを開始します。
- スライドショーをやめたい場合は、***STOP*** ボタンまたは ***EXIT*** ボタンを押すと、再生は止まり、前の画面に戻ります。
- ***INFO*** ボタンを押すごとに、下記のように切り替わります。

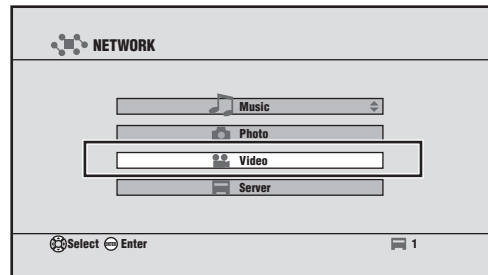
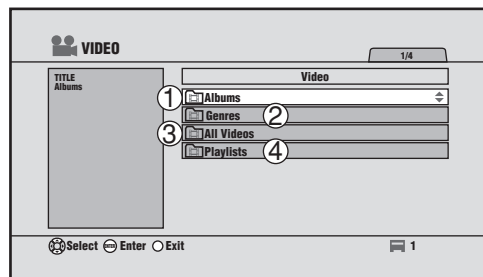
ご注意

スライドショーの再生中に前または次の画像にスキップするとスライドショーは一時停止します。

動画を再生する

RC2001

ボタン	動画再生画面
▲, ▼（リモコン、本機）	（▲）15 秒前にスキップ （▼）15 秒後にスキップ
◀, ▶（リモコン、本機）	スロー再生時スロー速度変更
GUIDE TOP（本機）	トップメニューに移動
EXIT（リモコン、本機）	停止
MENU	TOOL メニュー
INFO	パネル表示切替
▶（PLAY）	再生
⏮ / ⏭	（⏭）連続再生時次のビデオを再生 （⏮）連続再生時前のビデオを再生（ビデオの先頭から 1 秒以上もしくは単独再生時は頭出し）
■（STOP）	停止
⏸（PAUSE）	一時停止 / 解除
（Blue）MUSIC	MUSIC TOP に移動
（Red）PHOTO	PHOTO（設定依存）に移動
（Green）VIDEO	VIDEO TOP に移動
（Yellow）SERVER	SERVER TOP に移動

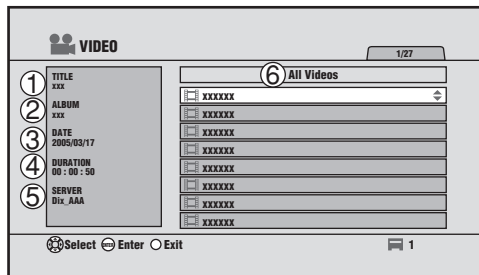
AV8003

RC101

ボタン	動画再生画面
▲, ▼ （リモコン、本機）	（▲）15 秒前にスキップ （▼）15 秒後にスキップ
◀, ▶ （リモコン、本機）	スロー再生時スロー速度変更
SOURCE OFF	停止
SOURCE ON	画面の解像度の変更
▶（PLAY）	再生
⏮ / ⏭	（⏭）連続再生時次のビデオを再生 （⏮）連続再生時前のビデオを再生 （ビデオの先頭から 1 秒以上もしくは単独再生時は頭出し）
■（STOP）	停止
⏸（PAUSE）	一時停止／解除

トップメニューから VIDEO にカーソルを合わせ、***ENTER*** ボタンを押すか、任意の画面で***緑(VIDEO)*** ボタンを押します。

動画のトップメニューが表示されます。

①Albums：
動画ファイルをアルバム毎にソートします。

②Genres：
動画ファイルをジャンル毎にソートします。

③All Videos：
すべての動画ファイルを表示します。

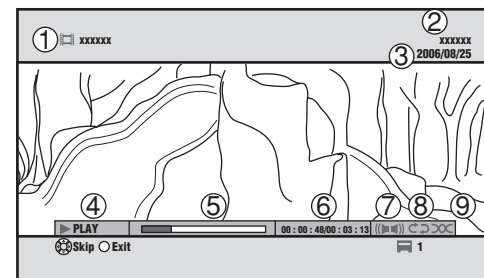
④Playlists：
動画プレイリストを表示します。(20 ページ参照)

条件のソートが終了すると、ファイル一覧が表示されます。

①動画のタイトル
②アルバム名
③作成日
④再生時間
⑤ファイルが保存されているサーバー
⑥ソート項目

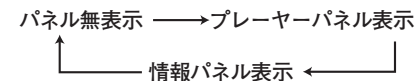
ご注意

Duration はファイルによっては正常な時間を取得できない場合があります。

再生したいファイルを選択し、***ENTER*** または ***PLAY*** ボタンを押します。
選択されたファイルのみが再生されます。
ファイルリストの中で、他のファイルも連続して再生したい場合は、***MENU*** ボタンを押して、"Continuous Playback"を選択します。

動画再生画面

①タイトル名
②アルバム名
③日付表示
④状態表示
⑤プログレスバー
⑥時間 / 総時間
⑦音声モード表示
⑧リピート状態表示
⑨ランダム状態表示

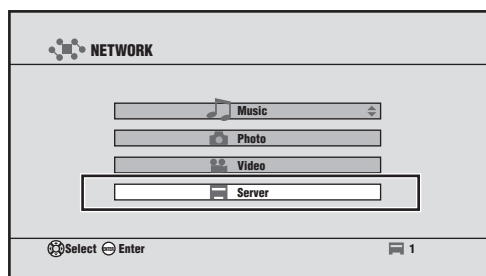
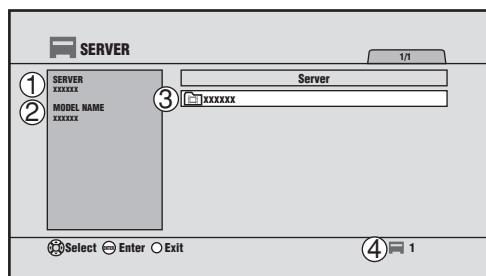
- 動画の再生をやめたい場合は、***STOP*** ボタンまたは ***EXIT*** ボタンを押すと、再生は止まり、前の画面に戻ります。
- ***INFO*** ボタンを押すごとに、下記のように切り替わります。

パネル無表示 → プレーヤーパネル表示 → 情報パネル表示 → パネル無表示

サーバーを指定してファイルを再生する

サーバーを指定する

以下のような場合、トップメニューの“Server”を使って、ファイルを再生およびファイルリストを取得することができます。

- 接続している複数のサーバーから1つのサーバーを指定し、その中のファイルを再生したいとき
- 接続しているサーバーの中に、MUSIC、PHOTO、VIDEO メニューからファイルリストが取得できないものがあるとき

1. トップメニューから“Server”にカーソルを合わせ、ENTER キーを押すか、任意の画面で*黄（SERVER）*ボタンを押します。

2. サーバーメニューが表示されます。

①③ で選択している サーバーの名前
②③ で選択している サーバーの種類
③サーバーのリスト
④現在検出されているサーバー数

サーバーのリストは過去にファイルリストを取得したサーバー全てが登録されています。

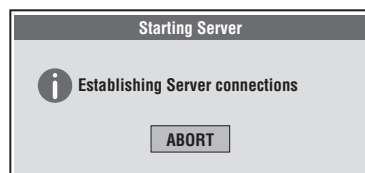
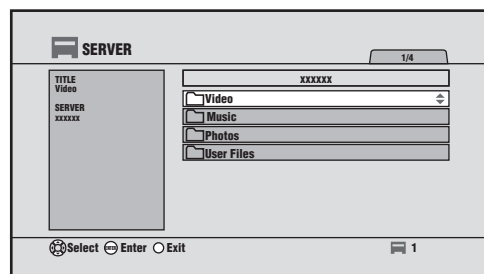
- **文字色　白：**
  現在接続しているサーバー
- **文字色　グレー：**
  過去に接続していて、現在接続していないサーバー

3. サーバーリストからサーバーを選択し、*ENTER* ボタンを押すと、画面は選択したサーバーのファイルリストが表示されます。

ご注意

- 本機が登録できるサーバー数は最大 50 台までです。サーバー数が 50 台を超えた場合、不必要なサーバーを削除してください。
- サーバーリストの表示内容はサーバーによって異なります。
- サーバーにあるファイルによっては本機で再生できない場合があります。

サーバーが WakeOnLAN に対応してる場合

サーバーリストの文字色がグレーのサーバーに於いて、サーバーが WakeOnLAN に対応してる場合、*ENTER* ボタンを押すと、そのサーバーを起動し、ファイルを表示することができます。
サーバーが起動中は以下のダイアログが表示されます。
ENTER ボタンを再度押すと、接続を中止します。

サーバーの起動が完了すると、サーバーのファイルを表示することができます。

サーバーリストを更新する

以下のような場合、サーバーリストの更新を行なうと正常に表示することができます。

- 新たに接続したサーバーがサーバーリストに自動で登録しないとき
- 接続を解除したサーバーがサーバーリストに残っているとき

1. サーバーリスト画面上で *MENU* ボタンを押します。

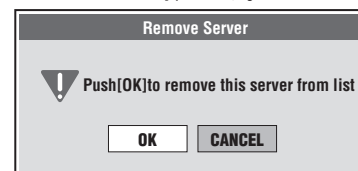
2. “Refresh”を選択し、*ENTER* ボタンを押すと、本機がネットワーク上のサーバー情報を再取得し、サーバーリストを更新します。

不必要なサーバーリストを削除する

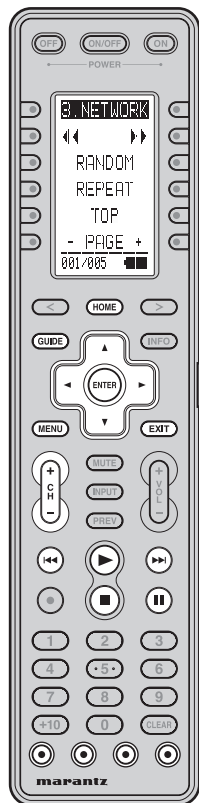
サーバーのリストは過去に本機が認識したサーバー全てが登録されています。
不必要に履歴が増えた場合、リストが 50 個までいっぱいになってしまった場合など、サーバーリストから不必要なサーバーを削除することができます。

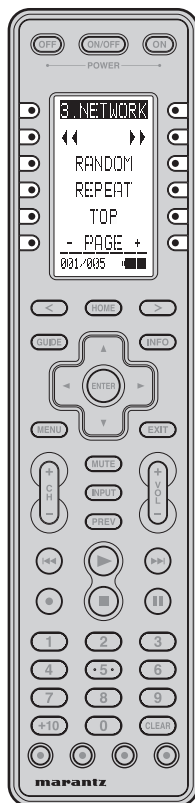
1. 現在接続されていないサーバーを選択して、*MENU* ボタンを押します。

2. “Remove server”を選択し、*ENTER* ボタンを押します。

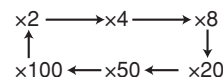
3. 以下のダイアログが出たら“OK”を選択し、*ENTER* ボタンを押します。

応用操作

リモコンの操作

RC2001

Command	ファイルリスト
▲ (リモコン、本機)	項目の移動(リスト) 前の画像を表示(画像) 15 秒前にスキップ(動画) 詳細情報表示時前後のトラックの移動
▼ (リモコン、本機)	項目の移動(リスト) 次の画像を表示(画像) 15 秒後にスキップ(動画) 詳細情報表示時前後のトラックの移動
◀ (リモコン、本機)	項目の移動(画像リスト) 前の画像を表示(画像) スロー速度変更(動画) 詳細情報表示時情報切替
▶ (リモコン、本機)	項目の移動(画像リスト) 次の画像を表示(画像) スロー速度変更(動画) 詳細情報表示時情報切替
ENTER (リモコン、本機)	項目の選択 / 再生
GUIDE TOP(本機)	トップメニューに移動
EXIT(リモコン、本機)	前画面(リスト) 停止
CH ±	(+)次ページ (−)前ページ
MENU	TOOL メニュー
INFO	ファイルの詳細表示(リスト) パネル表示切替(画像・動画)
▶(PLAY)	再生 スライドショー開始(画像)
⏮ / ⏭	(⏭)次のファイルを再生 (⏮)前のファイルを再生
■(STOP)	停止
❚❚(PAUSE)	一時停止 / 解除
(Blue)MUSIC	MUSIC TOP に移動
(Red)PHOTO	設定された PHOTO 画面に移動
(Green)VIDEO	VIDEO TOP に移動
(Yellow)SERVER	SERVER TOP に移動

RC2001 Programmable Soft buttons

Page	Command	ファイルリスト
1	3.NETWORK	Select NETWORK function
	◀◀ / ▶▶	(Left) 巻き戻し(音楽、動画) ① 左 90 度回転(画像)
		(Right)早送り(音楽、動画) ① 右 90 度回転(画像)
	RANDOM	RANDOM play ②
	REPEAT	REPEAT play ③
	TOP	トップメニューに移動
	- PAGE +	(Left)前ページに移動
		(Right)次ページに移動
2	3.NETWORK	Select NETWORK function
	M ARTIST	Music Artists に移動
	M ALBUM	Music Albums に移動
	M GENRE	Music Genres に移動
	MUSIC ALL	All Songs に移動
	M P-LIST	Music Playlists に移動
3	3.NETWORK	Select NETWORK function
	P ALBUM	Photo Albums に移動
	PHOTO ALL	All Photos に移動
	P P-LIST	Photo Playlists に移動
4	3.NETWORK	Select NETWORK function
	V ALBUM	Video Albums に移動
	V GENRE	Video Genres に移動
	VIDEO ALL	All Videos に移動
	V P-LIST	Video Playlists に移動
5	3.NETWORK	Select NETWORK function
	PLAYLIST	プレイリストへの登録
	BILINGUAL	動画再生中に音声切り替え
	SETTINGS	SETTINGS MENU に移動
	RESTART	NETWORK を再起動

① 曲の早送り/巻き戻し

▶▶(早送り)/◀◀(巻き戻し)ボタンを押すごとに、速度が下記の順に切り替わります。

PLAY ボタンを押すと通常再生に戻ります。

ご注意

DRM 保護ファイルは再生速度変更を行なうことができません。

② ランダム再生

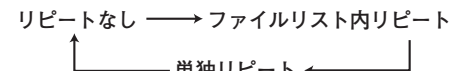
RANDOM ボタンを押すと、カテゴリーの階層下にある全てファイルからランダム再生します。
再生中に *RAMDOM* ボタンを押すと、下記のように切り替わります。

ランダムなし ⟷ ランダム

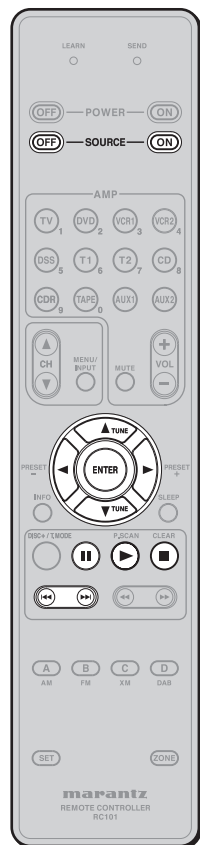
ご注意

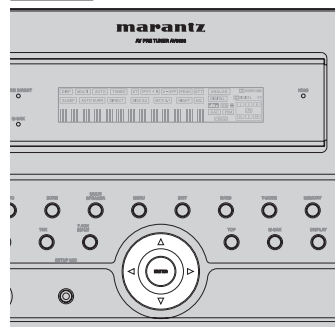
RANDOM 設定は音楽、画像、動画ファイル 各々に保持されます。

③ リピート再生

REPEAT ボタンを押すと、カテゴリーの階層下にあるファイル全てをリピート再生します。
再生中に *REPEAT* ボタンを押すと、下記のように切り替わります。

ご注意

REPEAT 設定は音楽、画像、動画ファイル 各々に保持されます。

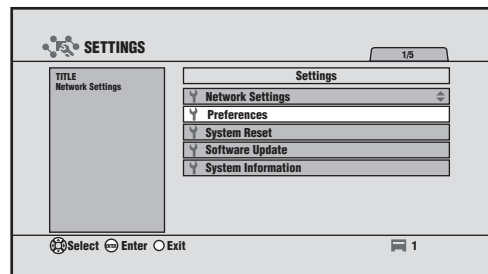
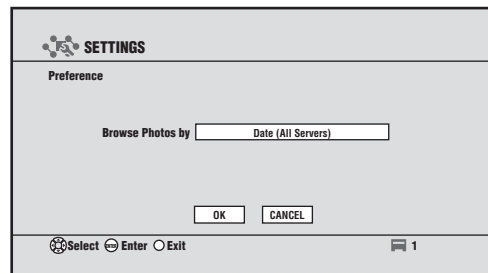
RC101

Command	ファイルリスト
▲ （リモコン、本機）	項目の移動（リスト） 前の画像を表示（画像） 15 秒前にスキップ（動画） 詳細情報表示時前のファイルの移動
▼ （リモコン、本機）	項目の移動（リスト） 次の画像を表示（画像） 15 秒後にスキップ（動画） 詳細情報表示時前のファイルの移動
◀ （リモコン、本機）	項目の移動（画像リスト） 前の画像を表示（画像） スロー速度変更（動画） 詳細情報表示時情報切替
▶ （リモコン、本機）	項目の移動（画像リスト） 次の画像を表示（画像） スロー速度変更（動画） 詳細情報表示時情報切替
ENTER （リモコン、本機）	項目の選択 / 再生
SOURCE OFF	前画面（リスト） 停止
SOURCE ON	画面の解像度を変更
▶（PLAY）	再生 スライドショー開始（画像）
⏮ / ⏭	（⏭） 次のファイルを再生 （⏮） 前のファイルを再生
■（STOP）	停止
❚❚（PAUSE）	一時停止 / 解除

AV8003

画像ファイルの応用操作

赤（PHOTO）ボタンの設定

赤（PHOTO）ボタンを押した時の移動先の設定は次のように行います。

1. リモコンの *SETTINGS* ボタンを押します。

2. Preferences にカーソルを合わせ、*ENTER* ボタンを押します。

次の画面が表示されます。

Browse Photos by の項目で *ENTER* ボタンを押します。

・Date（All servers）：

接続されているすべてのサーバーの画像を日付でソートします。（初期設定）

・Date（Selected server）：

画像を取得するサーバーを選んで日付でソートします。

・Category：

トップメニューから PHOTO を選択したときと同様になります。

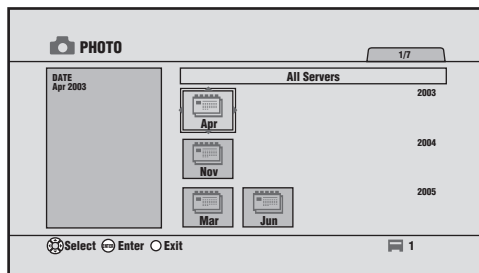
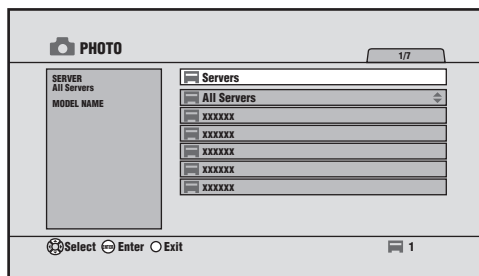
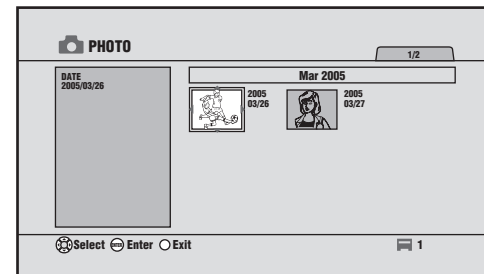
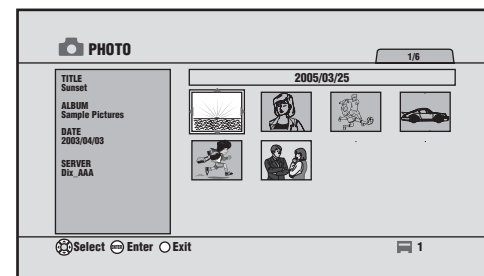
▲、▼ ボタンで設定項目を選択し、再度 *ENTER* を押します。
“OK”を押して、設定を完了します。

画像を日付別で表示する

赤（PHOTO）ボタンの設定が Date server になっているとき、サーバー内の画像を年月日別にソートします。

ご注意

bmp ファイルは画像の保存日が撮影日となります。

設定が All Servers になっている場合、以下の画面が表示され、全サーバーの画像を年月別にグループ分けします。

設定が Selected server になっている場合、以下の画面が表示され、画像が保存されているサーバーを選択します。
サーバー選択後は年月別リストを表示します。

年月リストの中から月を選択すると、月日リストに移動します。
サムネイルは日付順に表示されます。

再生したい日付を選択し、*ENTER* ボタンを押します。

選択された日付の画像一覧がサムネイルで表示されます。
表示したい画像を選択し、*ENTER* または *PLAY* ボタンを押します。

- *ENTER* ボタンを押すと、選択した画像を表示します。
- *PLAY* ボタンを押すと、選択した画像からスライドショーを開始します。

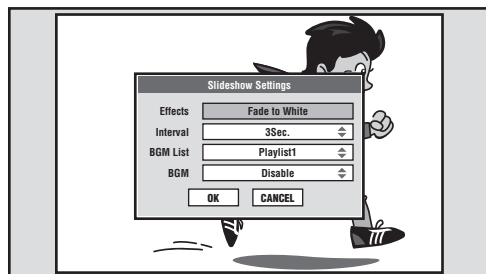
ご注意

選択された日付のサムネイルで、*PLAY*、*REPEAT*、*RANDOM* ボタンを押すと、サムネイルにある画像のスライドショーを開始します。

スライドショーの設定

スライドショーの設定を行ないます。

1. 画像再生中か画像コンテンツリスト表示中に ***MENU*** ボタンを押します。

2. Tool メニューから“Slideshow Settings”を選択し、***ENTER*** ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

Effects：
画像の切り替わり効果を選択します。

- None（切り替わり効果を使用しません。）
- Fade to White（白くフェードアウトします。）
- Fade to Black（黒くフェードアウトします。）
- Random（白または黒くフェードアウトします。）

Interval：
画像が切り替わるまでの時間を設定します。

- 3 秒 • 15 秒
- 5 秒 • 30 秒
- 10 秒 • 60 秒

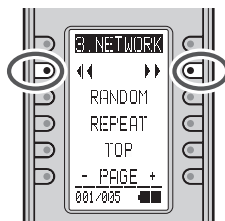
BGM List：
スライドショー再生中に流れる BGM を音楽プレイリスト 1 ～ 5 の中から選択します。

BGM：
スライドショー再生中の BGM の有無を選択できます。

- Disable（BGM を再生しません。）
- Enable（BGM を再生します。）

3. “OK”を押して、設定を完了します。

画像回転（画像）

- 画像表示中に ▸▸ ボタンを押すと、右 90 度回転します。
- 画像表示中に ◂◂ ボタンそ押すと、左 90 度回転します。

- ***MENU*** ボタンを押し、Turn を選択して***右***ボタンを押します。

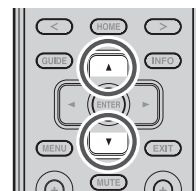
  回転方向を選択し、***ENTER*** を押すと、選択した方向に 90 度回転します。

ご注意

スライドショーの再生中は画像を回転すると、回転後スライドショーが一時停止状態になります。

動画ファイルを操作する

スキップ再生

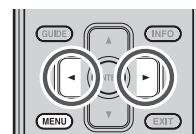
動画再生を 15 秒前後にスキップします。

- 動画再生中に ▲ ボタンを押すと、再生はその時点から 15 秒前にスキップします。
- 動画再生中に ▼ ボタンを押すと、再生はその時点から 15 秒後にスキップします。

スキップした状態が、ファイルの最初または最後になったとき、動画再生は一時停止状態になります。

ご注意

動画ファイルによってはスキップ再生ができない場合があります。

スロー再生

再生方向にスロー再生します。

1. 動画再生中に ***MENU*** ボタンを押します。

2. “Slow Play”を選択し、***ENTER*** ボタンを押します。

3. ▶ ボタンを押すとスロー速度が上昇します。

◀ ボタンを押すとスロー速度が減少します。

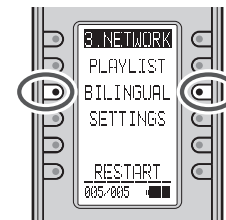
1/16 ⟷ 1/8 ⟷ 1/4 ⟷ 1/2

4. ***PLAY*** ボタンか ***PAUSE*** ボタンを押すと、スロー再生を解除します。

ご注意

動画ファイルによってはスロー再生ができない場合があります。

音声の切り替え

動画再生中に ***BILINGUAL*** ボタンを押すと、出力する音声チャンネルを変更することができます。

BILINGUAL ボタンを押す毎に下記のように切り替わります。

L+R ⟶ L 成分のみ ⟶ R 成分のみ

画面右下のアイコン表示

L ＋ R

L のみ

R のみ

L/R 切り替え	音声データ形式
L/R 切り替え可能	LPCM
	MPEG-1/2 Layer-Ⅱ
	MPEG-1/2 Layer-Ⅲ
	WMA 2ch
	AAC LC 2ch
L/R 切り替え不可能	AC3
	AAC LC Multichannel
	WMA9 Professional

レジューム再生

再生途中で停止した動画を再び再生するとき、停止した場面から再生を開始します。
再生停止後に他のファイルを再生すると、レジューム再生はできません。

ご注意

動画ファイルによってはレジューム再生ができない場合があります。

接続
基本設定
画面の名称
基本操作
応用操作
応用設定
困ったときは
その他

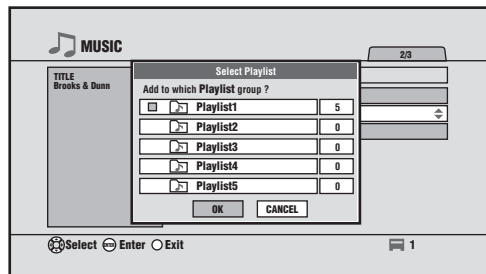
プレイリストを使う

お気に入りの音楽、画像、動画ファイルをプレイリストとして、１つのグループにまとめることができます。

- プレイリストは音楽、画像、動画それぞれ 5 個まで作成することができます。
- 1 個のプレイリストに最大 100 個のファイルを登録することができます。

プレイリストの登録

1. 登録したいファイルまたはカテゴリーにカーソルを合わせ、***PLAYLIST*** ボタンを押すか、***MENU*** ボタンを押して、TOOL メニューから“Add Playlist”を選択します。

または、登録したいファイルの再生中に ***PLAYLIST*** ボタンを押すか、***MENU*** ボタンを押して、TOOL メニューから“Add Playlist”を選択します。

2. ▲/▼ ボタンを使って、登録先のプレイリストを選択し、***ENTER*** ボタンを押します。選択した PLAYLIST に ■ マークが表示されます。

3. “OK”を選択し、***ENTER*** ボタンを押します。登録しない場合は“CANCEL”を選択し、***ENTER*** ボタンを押します。

ご注意

複数ファイルを一括で登録するとき、登録途中でファイルが 100 個を超えた場合、100 個を以降のファイルは登録されません。

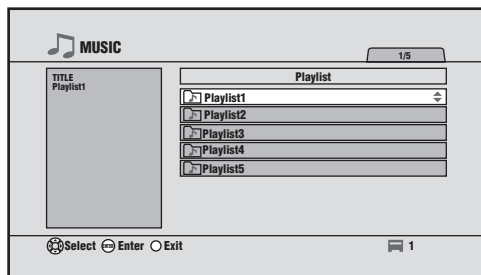
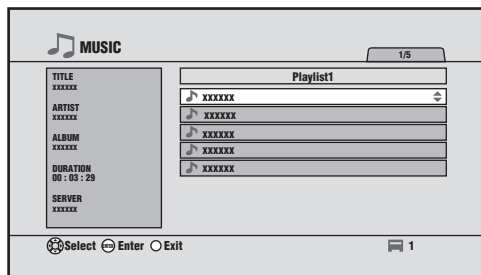
プレイリストを再生する

1. Music、Photo、Video のトップメニューから“Playlists”を選択し、***ENTER*** ボタンを押します。

または、リモコンの ***M P-LIST***、***P P-LIST***、***V P-LIST*** ボタンを押します。

2. プレイリスト画面が表示されます。

再生したいプレイリストを ▲/▼ ボタンで選択し、***ENTER*** ボタンを押します。

選択したプレイリスト上で ***PLAY*** ボタンを押すと、選択されたプレイリストにあるファイルを再生します。

3. リストの中で再生したいファイルを ▲/▼ ボタンで選択し、***ENTER*** または ***PLAY*** ボタンを押すと、そのファイルからプレイリスト内にあるファイルを連続再生します。

プレイリストの再生順番変更

プレイリストの再生順番を変更することができます。

1. プレイリスト画面上で、***MENU*** ボタンを押します。

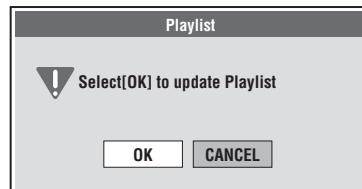
2. TOOL メニューから“Move”を選択します。

3. 移動したいファイルを選択し、***ENTER*** ボタンを押します。

4. ファイルの移動先を選択し、***ENTER*** ボタンを押します。

5. 並び替えが終わるまで手順 ***3.*** ～ ***4.*** を繰り返します。

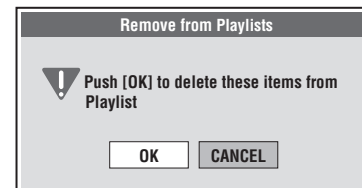
6. 並び替えが終了したら、***EXIT*** ボタンを押します。以下のダイアログが表示されます。

7. “OK”を押して、移動を完了します。登録しない場合は“CANCEL”を押します。

プレイリストの登録解除

プレイリストから不要なファイルを登録解除することができます。

登録されたファイルを解除する

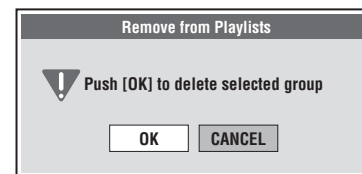
1. プレイリストを開き、プレイリストから解除したいファイルを選択し、***MENU*** ボタンを押します。

2. TOOL メニューから“Remove from Playlists”を選択し、***ENTER*** ボタンを押します。以下のダイアログが表示されます。

3. “OK”を押して、登録解除を完了します。

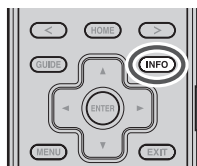
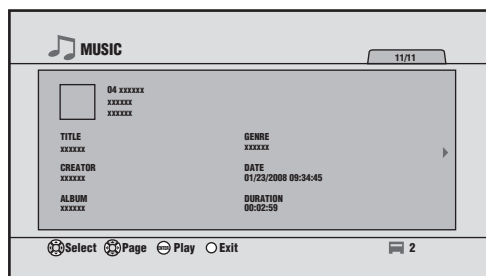
登録されたファイルを解除する（プレイリスト内のすべて）

一つのプレイリストに登録されているファイルを一括で登録解除することができます。

1. プレイリスト画面で、登録を解除したいプレイリストを選択し、***MENU*** ボタンを押します。

2. TOOL メニューから“Remove from Playlists”を選択し、***ENTER*** ボタンを押します。以下のダイアログが表示されます。

3. “OK”を押して、登録解除を完了します。

ファイルの詳細情報を見る

ファイルリストにあるファイルの詳細情報を表示することができます。

表示させたいファイルを選択し、*INFO* ボタンを押すか、*MENU* ボタンを押したあと、TOOL メニューの "Detailed Information"を選択します。

- **◀ / ▶ ボタン：**
  ページを切り替える
- **▲ / ▼ ボタン：**
  ファイルを切り替える
- **PLAY ボタン：**
  現在表示されているファイルを再生する
- **INFO ボタン、EXIT ボタン：**
  リスト画面に戻る

ご注意

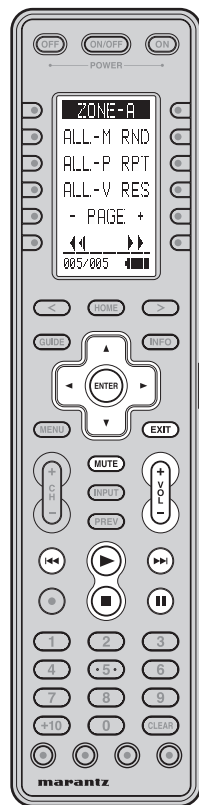
- サーバーによって表示される項目が異なります。
- サーバーがファイルをトランスコードして再生する場合、ビットレートや解像度などの値が実際とは異なります。

マルチゾーンで再生する

マルチゾーンでネットワーク再生を行なうことができます。ただし、メインゾーンで NETWORK が選ばれている場合、ゾーン A/B から操作することはできません。
メインゾーンと同じ画像や音声を楽しむことはできます。
ZONE A,B に NETWORK を割り当てる方法は本機の取扱説明書を参照してください。

ご注意

- ZONE B では音声のみの出力となります。
- 音声出力は 2ch のみとなります。マルチチャンネルのファイルは 2ch にダウンミックスされます。

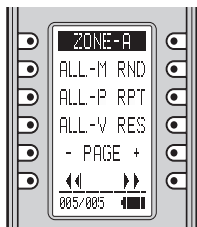
RC2001 を使った操作方法

ボタン	ファイルリスト	音楽再生画面	画像再生画面	動画再生画面
VOLUME ±	音量を上げる 音量を下げる			
MUTE	ミュート / ミュート解除			
▲ / ▼	項目の移動 詳細情報表示時前後のトラック	項目の移動	(▲) 前の画像を表示 (▼) 次の画像を表示	(▲) 15 秒前にスキップ (▼) 15 秒後にスキップ
◀ / ▶	項目の移動(画像) 詳細情報表示時情報切り替え	–	(◀) 前の画像を表示 (▶) 次の画像を表示	スロー再生時スロー速度変更
ENTER	項目の選択 / 再生	カーソル選択曲の再生	–	–
EXIT	前画面	停止	停止	停止
▶(PLAY)	再生	再生	スライドショー開始	再生
⏮ / ⏭	–	(⏭) 次の曲を再生 (⏮) 前の曲を再生(曲の先頭から 1 秒以上の場合は頭出し)	(⏭) 次の画像を表示 (⏮) 前の画像を表示	(⏭) 連続再生時次のビデオを再生 (⏮) 連続再生時前のビデオを再生(ビデオの先頭から 1 秒以上もしくは単独再生時は頭出し)
■(STOP)	–	停止	停止	停止
⏸(PAUSE)	–	一時停止 / 解除	スライドショー一時停止	一時停止 / 解除

< ZONE A で再生する>

1. リモコンの ***HOME*** ボタンを押し、</> ボタンを押して、画面を 003/004 にします。

2. ***ZONE-A*** ボタンを押すと、RC2001 は ZONE A を操作するモードに切り替わります。

3. </> ボタンを押して画面を 005/005 にすると、RC2001 の画面は ZONE A での NETWORK 操作モードに切り替わります。

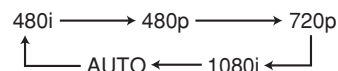
4. ***PLAY*** ボタンを押して、ファイルを再生します。

ZONE-A 005/005	
ALL-M	**RND**
ALL Songs に移動します。	ランダム再生
ALL-P	**RPT**
ALL Photos に移動します。	リピート再生
ALL-V	**RES**
ALL Videos に移動します。	画面の解像度を切り替えます。
PAGE-	**PAGE+**
リストの一つ前のページに移動します。	リストの次のページに移動します。
◀◀	▶▶
巻き戻しを行います。（音楽・動画） 画像を左回りに 90 度回転します。（画像）	早送りを行います。（音楽・動画） 画像を右回りに 90 度回転します。（画像）

< ZONE A の画面設定>

ZONE A では コンポーネント出力 2 の設定を ZONE A にした場合、コンポーネント出力 2 からすべての解像度で映像を出力できます。
ZONE OUT 端子は 480i 以外の解像度では映像を出力できません。

ネットワークプレイヤーの画面の解像度を ZONE A から変更することが可能です。

RC2001</> ボタンを押して液晶の 005/005 ページを開き、***RES*** ボタンを押します。

RES ボタンを押すと NETWORK TOP メニューに戻り、解像度が変更されます。***RES*** ボタンを押すごとに画面の解像度が次の順番で切り替わります。

ご注意

ダイアログや TOOL メニューなどが出ている場合、解像度変更ができません。その場合は先にダイアログやメニューを閉じてください。

<ZONE B で再生する >

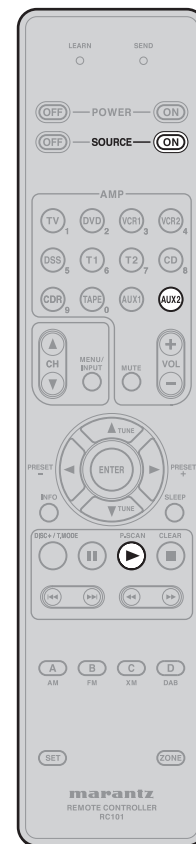
1. リモコンの ***HOME*** ボタンを押し、</> ボタンを押して、画面を 003/004 にします。

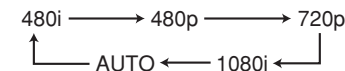
2. ***ZONE-B*** ボタンを押すと、RC2001 は ZONE B を操作するモードに切り替わります。

3. </> ボタンを押して画面を 005/005 にすると、RC2001 の画面は ZONE B での NETWORK 操作モードに切り替わります。

4. ***All MUSIC*** ボタンを押した後、***PLAY*** ボタンを押して、サーバー内の全ての音楽ファイルを再生します。

ZONE-B 005/005	
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生
ALL MUSIC	All songs に移動します。
◀◀	巻き戻しを行います。
▶▶	早送りを行います。

RC101 を使った操作方法

< ZONE A の画面設定>

SOURCE ON ボタンを押すと NETWORK TOP メニューに戻り、解像度が変更されます。
SOURCE ON ボタンを押すごとに画面の解像度が次の順番で切り替わります。

ご注意

ダイアログや TOOL メニューなどが出ている場合、解像度変更ができません。その場合は先にダイアログやメニューを閉じてください。

<ZONE A/B で再生する >

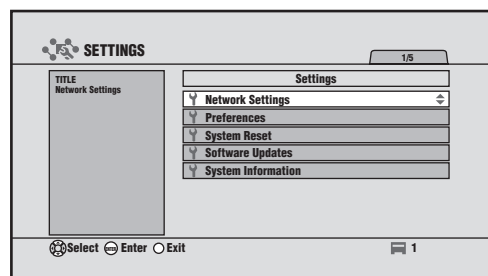
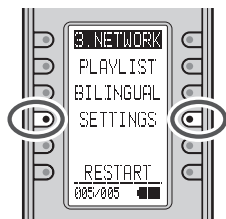
1. RC101 を ZONE A または B の操作モードにします。（本機の取扱説明書 XX ページ参照）

2. ***AUX2*** ボタンを押すと、RC101 が NETWORK 操作モードに切り替わります。

3. ***AUX2*** ボタンを 2 回続けて押すと、本体の ZONE A または B の入力を NETWORK に切り替えることができます。

4. ***PLAY*** ボタンを押してファイルを再生します。

応用設定

ネットワークの設定やシステムアップデートなどを行なうとき、任意の画面で ***SETTINGS*** ボタンを押すと、SETTINGS メニュー画面が表示されます。

①Network Settings：
ネットワークの設定を行います。
（5 ページ参照）

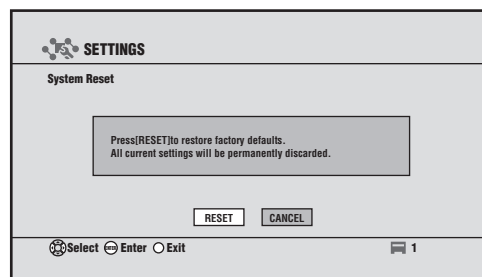
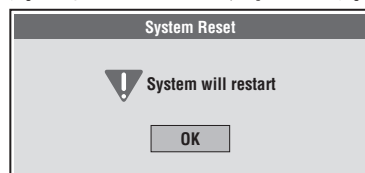
②Preferences：
ボタンを押したときの遷移先を選択します。
（18 ページ参照）

③System Reset：
ネットワークプレーヤーの設定を購入時の状態に戻します。

④Software Updates：
インターネットに接続して、ネットワークプレーヤーのファームウェアをアップデートします。

⑤System Information：
本機のネットワークデバイス名、MAC アドレス、ファームウェアのバージョンを表示します。

ネットワークプレーヤーの初期化

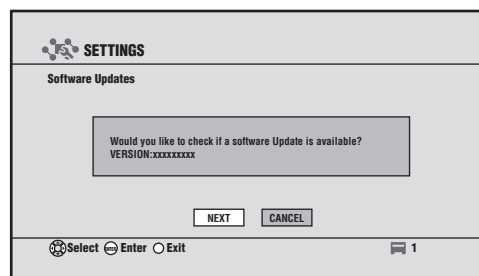
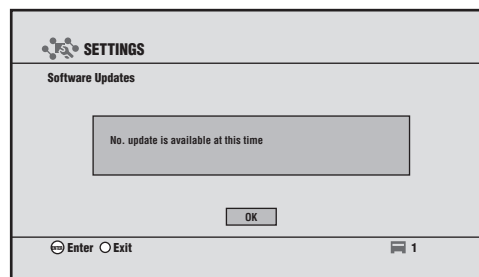
ネットワークプレーヤーの設定を購入時の状態に戻します。
SETTINGS メニューから Sysystem Reset を選択して ***ENTER*** ボタンを押してください。
初期化を行なうと、登録されているサーバーリストやプレイリストは消去されます。

1. “RESET” を選択し、***ENTER***ボタンを押します。以下のダイアログが表示されます。

2. “OK” を押すと、本機は再起動状態となり初期化を完了します。

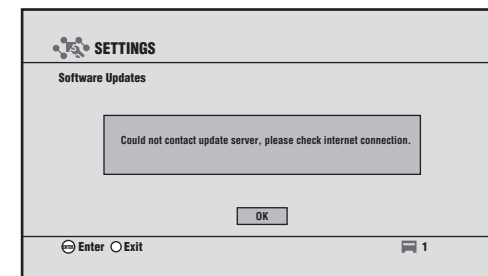
ソフトウェア アップデート

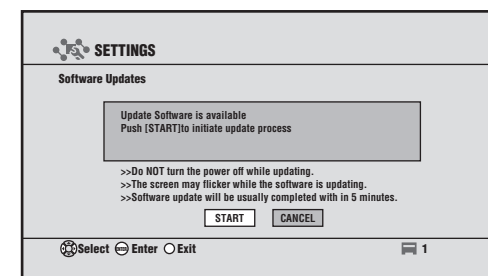
インターネットに接続してネットワークプレーヤーのファームウェアを更新します。

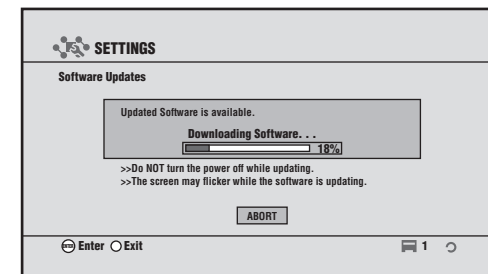
1. SETTINGS メニューから Software Updates を選択して ***ENTER*** ボタンを押してください。
以下の画面で“NEXT” を選択し、***ENTER*** ボタンを押すと、インターネット上に更新ファイルがあるか確認します。

ご注意

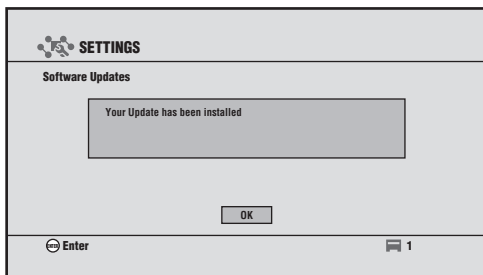
プロキシなどインターネット接続に特殊な設定が必要な場合インターネット経由のアップデートはできません。

● 現在のバージョンが最新の場合

ENTER ボタンを押すと SETTINGS メニューに戻ります。

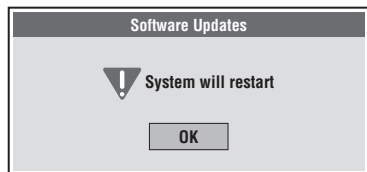
● サーバーにつながらない場合

ENTER ボタンを押すと SETTINGS メニューに戻ります。

● 更新ファイルが存在する場合

2. 下記のどちらかを選択し、***ENTER*** ボタンを押します。
- START：更新ファイルのダウンロードを行なう
- CANCEL：更新ファイルのダウンロードを行なわない

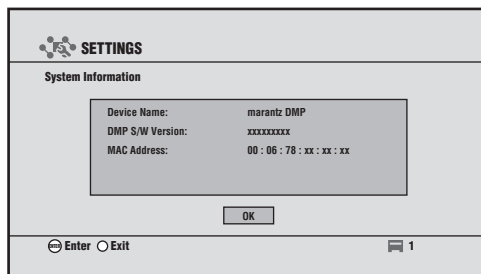
3. 更新ファイルのダウンロードを開始すると、画面は以下のようになります。

ダウンロードを途中でやめたい場合、***ENTER*** か ***EXIT*** ボタン を押してください。

ダウンロードが正常に終了すると、ダウンロードしたファイルの書き込みと照合を行います。

アップデート終了まではキー操作は無効となります。

アップデートが終了するまで、本機の電源を絶対に切らないでください。故障の恐れがあります。

4. *ENTER* ボタンを押します。以下のダイアログが表示されます。

5. “OK” を押すと、ネットワークプレーヤーは再起動状態となり、ソフトウェアのアップデートを完了します。

システムの情報を確認する

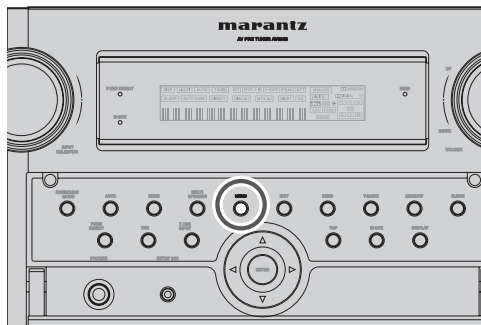
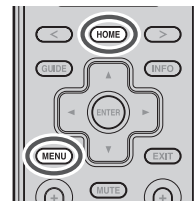
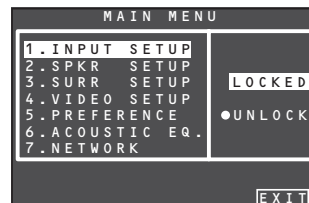
ネットワークプレーヤーのシステムの情報を表示します。
SETTINGS メニューから System Information を選択し *ENTER* ボタンを押してください。

- **Device name：**
  サーバーから認識される本機の名前
- **DMP S/W Version：**
  ネットワークプレーヤーファームウェアのバージョン
- **MAC Address：**
  本機の MAC アドレスです。

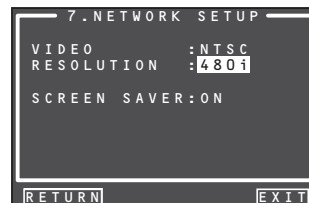
ENTER または *EXIT* ボタンを押すと、SETTINGS メニュー画面に戻ります。

NETWORK 画面の出力設定をする

本機の NETWORK 画面の出力設定を行ないます。

1. リモコンの *GUIDE* ボタンを押してトップメニュー画面に移動します。

2. <AV8003>
本機の *MENU* ボタンを押して、OSD メニュー画面を表示させます。

<RC2001>
リモコンの *HOME* ボタンを押した後、*MENU* ボタンを押して OSD メニュー画面を表示させます。

3. 本機に接続されたモニターに下の画面が表示されます。

▲ / ▼ ボタンを押して 7 NETWORK を選択し、*ENTER* ボタンを押してください。

4. NETWORK の設定画面が開きます。
▲ / ▼ ボタンで設定したい項目を選択し、◀ / ▶ ボタンで選択肢を変更します。

VIDEO

本機のカラー方式は、NTSC 方式専用です。

RESOLUTION

カーソルボタン ◀ / ▶ で、NETWORK PLAYER での映像信号の解像度（画素数）を下記の中から選択します。
“480i”↔“480p”↔“720p”↔“1080i”↔“AUTO”↔“480i”

- **AUTO（初期値）：**
  HDMI 接続されているテレビに適切な解像度に設定します。
  （テレビと HDMI 接続されていないときは 480p で出力）
  （DVI に変換して接続しているときは 480p で出力）
- **480i：**
  480i で出力されます。
- **480p：**
  480p で出力されます。
- **720p：**
  720p で出力されます。
- **1080i：**
  1080i で出力されます。

ご注意

- AUTO 設定時に、HDMI 接続しているモニターを変更した場合、自動的にトップメニューに戻り、モニターに適切な解像度に変更されます。このとき、ダイアログや TOOL メニューが表示されていると、ダイアログや TOOL メニューを消す操作を行った後、解像度が変更されます。
- VIDEO/S-VIDEO 出力をお使いの場合は 480i に設定してください。
- HDMI 接続されたモニターをお使いの場合、NETWORK 入力の時は RESOLUTION で設定された解像度で出力されます。

SCREEN SAVER

カーソルボタン ◀ / ▶ で、本機から出力する映像信号のスクリーンセーバーの“オン”または“オフ”を選択します。

- **ON（初期値）：**
  Network 画面 および設定画面で 10 分間操作しなかった場合、テレビ画面はスクリーンセーバー状態になります。（画面が暗くなります）
- **OFF：**
  10 分以上操作しなくても、スクリーンセーバー状態にはなりません。

ご注意

画像・動画再生中はスクリーンセーバー状態になりません。

再生可能なファイル

音楽ファイル

MUSIC	拡張子	コーデック	制限	
MP3	mp3	MPEG-1/2 Layer-Ⅲ	サンプリング周波数	最大 48kHz
			チャンネル数	最大 2ch
			ビットレート VBR/CBR	最大 320kbps
LPCM	–	LPCM	サンプリング周波数	最小 32kHz 最大 64kHz
			量子化ビット数	最大 16bit
			チャンネル数	最大 2ch
WAV	wav	PCM	サンプリング周波数	最小 32kHz 最大 64kHz
			量子化ビット数	最大 16bit
			チャンネル数	最大 2ch
WMA	asf wma	WMA8	サンプリング周波数	最大 48kHz
			チャンネル数	最大 2ch
			ビットレート	最大 320kbps
	asf wma	WMA9 WMA9 Professional	サンプリング周波数	最大 48kHz
			チャンネル数	最大 6ch**
			ビットレート VBR/CBR	最大 768kbps
AAC	m4a	MPEG-2/4 AAC （AAC LC）	サンプリング周波数	最大 48kHz
			チャンネル数	最大 5.1ch**
			ビットレート VBR/CBR	最大 640kbps

* WMA Lossless は非対応です。
** マルチチャンネルの場合 WMA、AAC は 2ch にダウンミックスされます。

画像ファイル

PHOTO	拡張子	解像度
JPEG	jpg jpeg	※ 最大 67108864 pixel （例 8192 x 8192）
BMP	bmp	無制限

※
以下の条件を満たす場合
- Color Space が YCbCr
- 非 Progressive mode
- フォーマットが YUV420/YUV422/YUV444 のいずれか

※該当しない JPEG 画像の場合、最大 983040pixel（例 1280 × 768） になります。

動画ファイル

VIDEO	拡張子	コーデック		制限	
MPEG PS	mpg mpeg mpe M2p	映像部	MPEG-1 MPEG-2	プロファイル・レベル	MP@HL まで
				ビットレート VBR/CBR	最大 15Mbps
		音声部	MPEG-1/2 Layer-Ⅱ	サンプリング周波数	最大 48kHz
				チャンネル数	最大 2ch
				ビットレート VBR/CBR	最大 384kbps
			LPCM	サンプリング周波数	最大 48kHz 16bit
				量子化ビット数	最大 16bit
				チャンネル数	最大 2ch
			AC3	サンプリング周波数	最大 48kHz
				チャンネル数	最大 5.1ch
				ビットレート	最大 640kbps
MPEG-2 TS/ TTS	ts m2t m2ts	映像部	MPEG-2	プロファイル・レベル	MP@HL まで
				ビットレート VBR/CBR	最大 23.1Mbps
		音声部	MPEG-1/2 Layer-Ⅱ	サンプリング周波数	最大 48kHz
				チャンネル数	最大 2ch
				ビットレート VBR/CBR	最大 448kbps
			AC3	サンプリング周波数	最大 48kHz
				チャンネル数	最大 5.1ch
				ビットレート	最大 448kbps
			MPEG-2/4 AAC LC	サンプリング周波数	最大 48kHz
				チャンネル数	最大 5.1ch
				ビットレート	最大 384kbps
Windows Media Video	asf wmv	映像部	WMV9	プロファイル・レベル	DRM なし MP@HL まで DRM あり MP@ML まで
				ビットレート VBR/CBR	DRM なし最大 10Mbps DRM あり 最大 4Mbps
		音声部	WMA8	サンプリング周波数	最大 48kHz
				チャンネル数	最大 2ch
				ビットレート	最大 320kbps
			WMA9 WMA9 Professional	サンプリング周波数	最大 48kHz
				チャンネル数	最大 6ch
				ビットレート VBR/CBR	最大 768kbps
MPEG-4	mp4	映像部	MPEG-4	プロファイルレベル	ASP
				ビットレート VBR/CBR	最大 5Mbps
		音声部	MPEG-4 AAC LC	サンプリング周波数	最大 48kHz
				チャンネル数	最大 5.1ch
				ビットレート	最大 448kbps

ご注意

- 本機は DTCP-IP に対応しています。ネットワーク接続した家庭用 HDD レコーダーで録画したビデオなどを本機で再生することができます。
  再生可能なビデオはお使いのレコーダーの取扱説明書でご確認ください。
- 本機は MPEG4-AVC、AVCHD には対応しておりません。
- エンコード方式によっては対応規格内であっても再生できない場合があります。
- サーバーによっては本機が対応しているファイルを再生できない場合があります。
  また、本機が対応していないファイルでも、本機が対応できる形式に変更して再生できる場合もあります。
  詳しくはお使いのサーバーの取扱説明書でご確認ください。
- 著作権保護（Windows Media DRM）がかかっているファイルを再生する場合、Windows Media Player11 であらかじめライセンス認証を行っておく必要があります。
- Dolby AC3 マルチチャンネルの動画はサラウンド再生が可能です。
- マルチチャンネルの場合 WMA、AAC は 2ch にダウンミックスされます。
- サーバーが認識できるファイル（拡張子）については、ご使用になるサーバーの取扱説明書を参照してください。

困ったときは

問題が発生した場合には、修理を依頼する前に以下を確認してください。

1. 接続は正しく行われていますか
2. ユーザーガイドにしたがって本機を正しく操作していますか
3. パワーアンプとスピーカーは正しく動作していますか

本機が正しく動作していない場合は、以下の表に示す項目を確認します。
以下の表に示す対処方法で問題を修復できない場合は、内部回路の動作不良が考えられます。直ちに電源ケーブルのプラグを抜き、お買い上げになった販売店もしくはお近くの株式会社マランツコンシューマーマーケティング各営業所、お客様相談センター、または当社サービスセンターにご相談ください。

症状	原因	対策
ネットワークにつながらない	• LAN ケーブルが接続されていない • IP アドレスが正しくない	ネットワークの接続を見直してください。
	• ファイアウォールによって接続が制限されている	本機との通信を許可してください。
サーバーが見つからない	サーバーが起動していない	サーバーを起動してください。
	サーバーが本機を認証していない	サーバー側で本機を認証してください。（6 ページ参照）
	本機がサーバーを認識していない	サーバーリストの再取得を行ってください。（15 ページ参照）
	サーバーリストの登録数が 50 になっている	不必要なサーバーをリストから削除してください。（15 ページ参照）
再生や次のファイルに切り替わるまで時間がかかる	• ファイルのサイズが大きい • DRM 保護コンテンツを再生している	故障ではありません。
ファイルリストが表示されるまで時間がかかる	リスト内のファイル数が多い	ランダムプレイ中　サーバー内のファイルが多いほどリスト取得まで時間がかかります。 接続するサーバー数を減らす（4 個程度）か、サーバーに登録するファイルを減らす（5000 程度）などを行ってください。
ファイルリストを取得できない	サーバーがファイルリストを構築している	サーバーがファイルリストを構築するまでに時間がかかるものがあります。 その場合は構築が終了するまでお待ちください。
	• サーバーが登録可能なファイル数を超えている • サーバーが対応していない文字をファイル名などに使用している	サーバーが登録可能な範囲にファイル数・ファイル形式を制限してください。 詳しくはサーバーの説明書を参照してください。
再生可能ファイル形式なのに再生できない	サーバーがそのファイル形式に対応していない	再生可能なファイルは本機の対応形式とサーバーの対応形式両方に依存します。 サーバーの説明書を参照してください。
再生が途切れる	• ネットワーク帯域の不足 • ファイルのビットレートが高すぎる	ネットワーク内の通信が混雑している場合があります。 他の機器の通信を停止させるか、ネットワーク環境を見直してください。 また、無線を介していると実際の通信より必要な帯域が大きくなります。
DRM 保護されたファイルが再生できない	サーバーが DRM に対応していない	DRM に対応しているサーバーに接続してください。
	サーバー側で DRM ライセンスを取得していない	あらかじめサーバー側で DRM ライセンスを取得してください。
ネットワークプレーヤーが応答しない	• リストのファイル数が多く処理に時間がかかっている • 複数のサーバーが起動中または情報更新中	処理が終わるまでお待ちください。
	ネットワークプレーヤーが操作を受け付けなくなった	リモコンの ***RESTART*** ボタンを押してネットワークプレーヤーを再起動してください。

その他

ネットワークプレーヤーからの情報通知

何らかの操作に対してネットワークプレーヤーからポップアップやダイアログで通知が出る場合があります。
その場合は以下をご覧ください。

ポップアップメッセージ

メッセージ表示後数秒でメッセージは消えます。

メッセージ	対策
Browsing authorization denied	Windows Media Player が本機の認証を解除しました。
Invalid Operation	無効な操作です。
Preparing to Playback	キー入力から、再生開始までが 4 秒以上かかります。
Can not resume playback	レジュームに対応していないサーバーでレジューム再生しようとしました。表示後は、先頭から再生を開始します。
No media Contents	1 階層下に何もない場合
Unable to retrieve the list	リストの取得に失敗しました。
Restarting	再起動中です。

ダイアログメッセージ

OK や ABORT を選択することでダイアログを抜け、場合によっては画面がトップメニューや前の画面に戻ります。

ダイアログタイトル	メッセージ	状況
Starting Server	Establishing Server Connection...	サーバーが起動中です。
Starting Server	Failed to connect to server	起動中のサーバーが 5 分待っても起動しません。
Starting Server	Can not connect to server	WakeOnLAN でのサーバー起動に失敗しました。
Authorization Error	Not authorized to browse this server	認証されていないサーバーを選択しました。
Retrieving List	Unable to retrieve the list	サーバーを参照中全サーバーもしくは対象サーバーがなくなりました。
		サーバーを参照しても情報が取得できませんでした。
Detailed Information	Can not find the requested information	リストから詳細情報を表示しようとして、関連情報が取得できませんでした。
Playback Error	Failed to play media content	再生中コンテンツの再生続行ができなくなったか、/ 再生画面に移っても全く再生できませんでした。
List Update	Updating the List	サーバーの再生リストが更新されました。
Playback Error	No media Contents under one hierarchy	一階層下に再生できるコンテンツがありません。
Playback Error	Unsupported media type	未サポートフォーマットのコンテンツを再生した場合
Authorization Error	Verify authorization of selected media on server	DTCP-IP 認証の失敗
Authorization Error	Verify that your network equipment, such as routers and hubs, are properly setup.	DTCP-IP 認証の失敗
Authorization Error	Copyright information of this file may be invalid.	DTCP-IP 認証の失敗
DRM Error	DRM denied authorization to selected media	WM-DRM 認証の失敗
DRM Network Error	Verify that your network equipment, such as routers and hubs, are properly setup.	WM-DRM 認証の失敗
DRM Connection Limit	Number of devices connected to this server has reached the authorized limit.	WM-DRM 認証の失敗
DRM Error	The media license is invalid. Revalidate this license on the server.	WM-DRM 認証の失敗
Network settings	Invalid Entry	ネットワークの数値を入力した際に、入力した値が不正な場合
Network settings	System will restart to apply network changes	設定適用時の再起動を行います。
System Reset	System will restart	設定リセット後の再起動を行ないます。
Software Updates	System will restart	システムセットアップ後の再起動を行ないます。
Select Playlist	Your Playlist is full	プレイリストの登録数が既に 100 件に達しています。
Select Playlist	Could not add some items _ Playlist full	プレイリストの登録数が限界に達したので一部のコンテンツが登録できませんでした。(カテゴリー指定のプレイリスト登録時)

接続
基本設定
画面の名称
基本操作
応用操作
応用設定
困ったときは
その他

用語解説

デフォルトゲートウェイ：
内部ネットワークと外部（インターネットなど）との出入り口になる機器です。

DHCP：
Dynamic Host Configuration Protocol の略。ネットワーク機器に自動的に IP アドレスを割り当てる機能です。

DLNA：
Digital Living Network Alliance の略。ホームネットワークで AV 機器やパソコンを相互に接続し，音楽、画像、動画データを相互利用する仕様を策定するために設立された業界団体です。本機は DLNA Home Networked Device Interoperability Guidelines v1.0 に準拠しています。

DNS：
Domain Name System の略。インターネット上のホスト名と IP アドレスを対応させるシステムです。

DTCP-IP：
家庭内 LAN などの IP ネットワーク上で著作権が保護された状態でコンテンツを伝送するための方式です。DTCP-IP に対応した機器同士を接続すると著作権保護されたファイルをネットワーク伝送して再生することができます。

IP アドレス：
ネットワーク機器 1 台 1 台に割り当てられる識別番号です。

LAN：
Local Area Network の略。有線や無線で機器同士を接続するネットワークです。

MAC アドレス：
LAN カードなどのネットワーク機器固有の識別番号です。

NAS：
Network Attached Storage の略。ハードディスクとネットワークインターフェース、OS などを一体化した単機能サーバーです。

サブネットマスク：
IP アドレスのうち、何ビットをネットワークを識別するためのネットワークアドレスに使用するかを定義する 32 ビットの数値です。

Windows Media Player 11：
Microsoft 社ウェブサイトからダウンロードできるメディア再生、共有ソフトです。お使いの PC が Windows Vista または Windows XP SP2 の場合ご使用いただけます。

商標

Windows Vista,Windows XP,Windows Media™ は米国 Microsoft Corporation の商標です。
本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

Windows Media DRM

本製品は Microsoft の特定の知的所有権によって保護されています。Microsoft の許可なしにこの技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。

コンテンツ所有者は著作権を含む知的所有権を保護する目的で Windows Media デジタル著作権管理技術（WMDRM）を使用しています。この装置では WMDRM ソフトウェアを用いて WMDRM で保護されたコンテンツにアクセスすることができます。WMDRM ソフトウェアでコンテンツを保護できない場合、コンテンツ所有者は Microsoft に対し、保護されたコンテンツを WMDRM を用いて再生または複製する本ソフトウェアの機能を無効にするよう求めることがあります。無効になった場合でも保護されていないコンテンツに影響はありません。保護されたコンテンツのライセンスをダウンロードする際、お客様には、Microsoft がライセンスに失効リストを含める場合があることに合意していただきます。コンテンツ所有者はお客様に対し、自らのコンテンツにアクセスするために WMDRM をアップグレードするよう求めることがあります。アップグレードを拒否すると、アップグレードが必要なコンテンツにアクセスできません。

DLNA®、the DLNA Logo、DLNA CERTIFIED ™はデジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス（DLNA）の登録商標、サービスマーク、認証マークです。

本製品は DynaFont を使用しています。DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。

本製品には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License(LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

技術資料

本機で使用しているソフトのライセンス情報

本製品は GPL/LGPL および他社製のソフトウェアを使用しています。本製品をお買い上げいただいたお客様は本製品で使用している GPL/LGPL ソフトウェアのソースコードを入手、改変、頒布することができます。

弊社サポートセンターにお問い合わせいただければ、実費にて使用しているソースコードを CDROM にてご提供させていただいております。なお提供しているソースコードは保証されません。また、ソースコードの内容についてのお問い合わせは受け付けておりませんので、あらかじめご了承ください。

本機で使用しているソフトのエンドユーザーライセンスアグリーメント

ソフトウェア	参照
Linux uCLinux busybox ccahe binutils gcc-lib ext2root libiconv elf2flt GDB genext2fs genromfs mtd madwifi	Exhibit A
uClibc iconv	Exhibit B
expat	Exhibit C
freetype	Exhibit D
libjpeg	Exhibit E
libpng	Exhibit F
Zlib	Exhibit G
Libtiff	Exhibit H
libtremor	Exhibit I
STLport	Exhibit J

Exhibit A

GPL
GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Preamble
The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The “Program”, below, refers to any such program or work, and a “work based on the Program” means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.) Each licensee is addressed as “you”.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.) These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.> Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker. <signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

Exhibit B

LGPL
GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991
 [This is the first released version of the library GPL. It is numbered 2 because it goes with version 2 of the ordinary GPL.]

Preamble
The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Library General Public License, applies to some specially designated Free Software Foundation software, and to any other libraries whose authors decide to use it. You can use it for your libraries, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link a program with the library, you must provide complete object files to the recipients so that they can relink them with the library, after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

Our method of protecting your rights has two steps: (1) copyright the library, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

Also, for each distributor's protection, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free library. If the library is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original version, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that companies distributing free software will individually obtain patent licenses, thus in effect transforming the program into proprietary software. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License, which was designed for utility programs. This license, the GNU Library General Public License, applies to certain designated libraries. This license is quite different from the ordinary one; be sure to read it in full, and don't assume that anything in it is the same as in the ordinary license.

The reason we have a separate public license for some libraries is that they blur the distinction we usually make between modifying or adding to a program and simply using it. Linking a program with a library, without changing the library, is in some sense simply using the library, and is analogous to running a utility program or application program. However, in a textual and legal sense, the linked executable is a combined work, a derivative of the original library, and the ordinary General Public License treats it as such.

Because of this blurred distinction, using the ordinary General Public License for libraries did not effectively promote software sharing, because most developers did not use the libraries. We concluded that weaker conditions might promote sharing better.

However, unrestricted linking of non-free programs would deprive the users of those programs of all benefit from the free status of the libraries themselves. This Library General Public License is intended to permit developers of non-free programs to use free libraries, while preserving your freedom as a user of such programs to change the free libraries that are incorporated in them. (We have not seen how to achieve this as regards changes in header files, but we have achieved it as regards changes in the actual functions of the Library.) The hope is that this will lead to faster development of free libraries.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a “work based on the library” and a “work that uses the library”. The former contains code derived from the library, while the latter only works together with the library.

Note that it is possible for a library to be covered by the ordinary General Public License rather than by this special one.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Library General Public License (also called “this License”). Each licensee is addressed as “you”.

A “library” means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.
The “Library”, below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A “work based on the Library” means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.)

”Source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library. Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions: a) The modified work must itself be a software library. b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change. c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License. d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.) These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it. Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library. In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices. Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy. This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange. If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License. However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables. When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law. If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.) Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also compile or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications. You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

c) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

d) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy. For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Library General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.> Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Library General Public License along with this library; if not, write to the Free Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990 Ty Coon, President of Vice That's all there is to it!

EXHIBIT C

expat

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

EXHIBIT D

FreeType

EXHIBIT E

libjpeg

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

EXHIBIT F

libpng
COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.18, May 15, 2007, are Copyright (c) 2004, 2006-2007 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.
libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, “”Contributing Authors” is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied “AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose.
The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.

2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.

3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products.
If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A “png_get_copyright” function is available, for convenient use in “about” boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files “pngbar.png” and “pngbar.jpg (88x31) and “pngnow.png” (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
May 15, 2007

EXHIBIT G

zlib
Copyright (C) 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler

EXHIBIT H

libtiff
Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS-IS” AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND,OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

EXHIBIT I

libtremor
Copyright (c) 2002-2004 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

EXHIBIT J

STLport
Copyright (c) 1994
Hewlett-Packard Company

Copyright (c) 1996-1999
Silicon Graphics Computer Systems, Inc.

Copyright (c) 1997
Moscow Center for SPARC Technology

Copyright (c) 1999-2003
Boris Fomitchev

This material is provided "as is", with absolutely no warranty expressed or implied. Any use is at your own risk.

Permission to use or copy this software for any purpose is hereby granted without fee, provided the above notices are retained on all copies.
Permission to modify the code and to distribute modified code is granted, provided the above notices are retained, and a notice that the code was modified is included with the above copyright notice.

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30－12：00　13：00－17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社マランツコンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.jp

Printed in China

06/2008　541110097013M　mzh-d